

資料編

資料 1 策定経過

年 月 日	内 容
平成 22 年度	現況調査（人口・産業の動向、土地利用の状況等）
平成 23 年 6 月 17 日	第 1 回 小松島市都市計画マスタープラン策定市民会議 議事：都市計画マスタープランの概要、市の現況、市民アンケート調査
平成 23 年 6 月 29 日 ～7 月 22 日	市民アンケート調査（15 歳以上の市民 2,500 人を対象） 2,500 名のうち 1,034 名の方から調査票回収（回収率 41.4%）
平成 23 年 11 月 4 日	第 2 回 小松島市都市計画マスタープラン策定市民会議 議事：課題及び目標、将来都市構造、土地利用の方針、地域区分の設定
平成 24 年 5 月 20 日	都市計画シンポジウム 小松島市ミリカホールで開催（約 300 名の方が参加） 第 1 部 基調講演「これからの小松島のまちづくりにむけて」 第 2 部 パネルディスカッション「みんなで進める こまつしま・まちづくり」
平成 24 年 6 月 25 日 ～7 月 31 日	地域のまちづくりについて意見募集 3 名の方から意見書提出
平成 24 年 7 月 12 日 ～7 月 20 日	まちづくりワークショップ 市内公民館等 12 会場で開催（延べ 199 名の方が参加）
平成 25 年 5 月 20 日	第 3 回 小松島市都市計画マスタープラン策定市民会議 議事：小松島市都市計画マスタープラン（素案）
平成 25 年 8 月 30 日	小松島市議会 小松島市都市計画マスタープラン（素案）の報告
平成 25 年 10 月 1 日	小松島市都市計画審議会 小松島市都市計画マスタープラン（素案）の報告
平成 25 年 10 月 7 日 ～10 月 28 日	パブリックコメント 小松島市都市計画マスタープラン（素案）に対する意見募集 37 名の方から意見書提出
平成 25 年 10 月 25 日	小松島市議会 小松島市都市計画マスタープラン（素案）への議会提言書
平成 25 年 11 月 27 日	第 4 回 小松島市都市計画マスタープラン策定市民会議 議事：議会提言書及びパブリックコメントを受けての修正、 小松島市都市計画マスタープランの策定に関する提言（案）
平成 25 年 11 月 29 日	小松島市議会 議会提言書及びパブリックコメントの対応、 小松島市都市計画マスタープラン（案の案）の報告
平成 26 年 1 月 10 日	第 5 回 小松島市都市計画マスタープラン策定市民会議 議事：提言について、まとめ
平成 26 年 2 月 5 日 ～2 月 19 日	公告・縦覧 小松島市都市計画マスタープラン（案）に対する意見募集 5 名の方から意見書提出
平成 26 年 2 月 24 日	小松島市都市計画審議会 小松島市都市計画マスタープラン（案）の諮問・答申
平成 26 年 2 月 27 日	小松島市議会 小松島市都市計画マスタープランの報告・策定完了
平成 26 年 3 月 5 日	公表・県知事に通知

資料2 市民アンケート調査

1 市民アンケート調査の概要

(1) 調査目的

小松島市都市計画マスタープランの策定にあたり、小松島市の現状や課題、今後のまちづくりの方向性等を検討する目的で市民アンケート調査を実施しました。

(2) 調査概要

対象者	15歳以上の市民から無作為に抽出
対象者数	2,500人
調査方法	郵送による調査票の配布及び回収
調査期間	平成23年6月29日～平成23年7月22日 (※平成23年8月31日までに回収した調査票も結果に反映しています。)

(3) 回収結果

配布数	2,500票
回収数	1,034票
回収率	41.4%

(4) 調査結果の見方

1) 回答割合について

- ・回答割合は、各項目の回答者数を、回収数で除し、パーセンテージを小数点第1位まで表示しています。
- ・単数回答（選択肢から1つだけ回答する場合）の問は、回答割合の合計が100%になるよう調整しています。
- ・複数回答（選択肢から2つ以上選択できる場合）の問は、回答割合の合計は100%より大きくなります。

2) 無回答について

以下の事項は全て無回答で集計しています。

- ・回答が記入されていない場合
- ・単数回答の問で複数回答している場合
- ・複数回答の問で指定の選択数以上の回答をしている場合

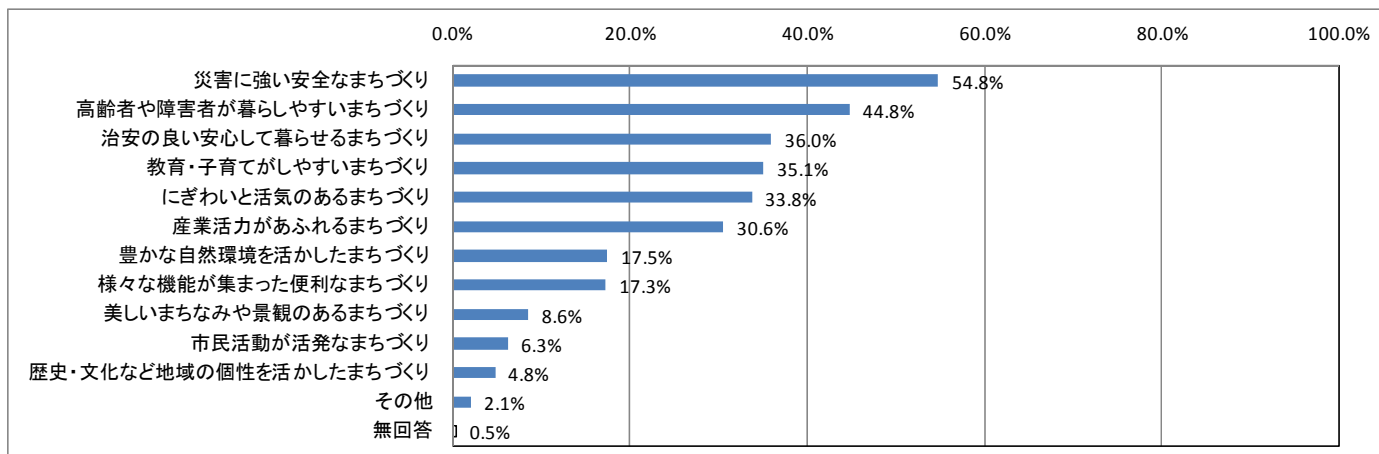
2 調査結果の概要

(1) 小松島市全体のまちづくりについて

〔問1〕小松島市の将来イメージ（将来像）としてどのようなまちづくりを目指すべきか

〔選択肢のうちあてはまるものを最大3つまで〇〕

「災害に強い安全なまちづくり」が54.8%と最も多く、次いで「高齢者や障害者が暮らしやすいまちづくり」44.8%、「治安の良い安心して暮らせるまちづくり」36.0%となっています。

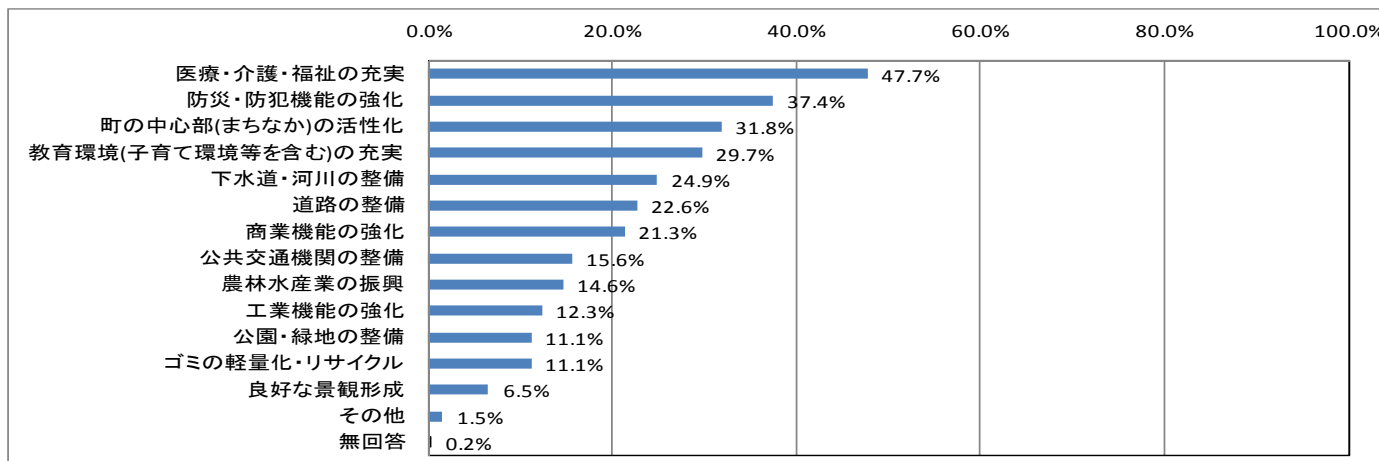


問1 小松島市の将来イメージ

〔問2〕今後のまちづくりにおいて、どのような分野に力を入れる必要があるか

〔選択肢のうちあてはまるものを最大3つまで〇〕

「医療・介護・福祉の充実」が47.7%と最も多く、次いで「防災・防犯機能の強化」37.4%、「町の中心部（まちなか）の活性化」31.8%となっています。

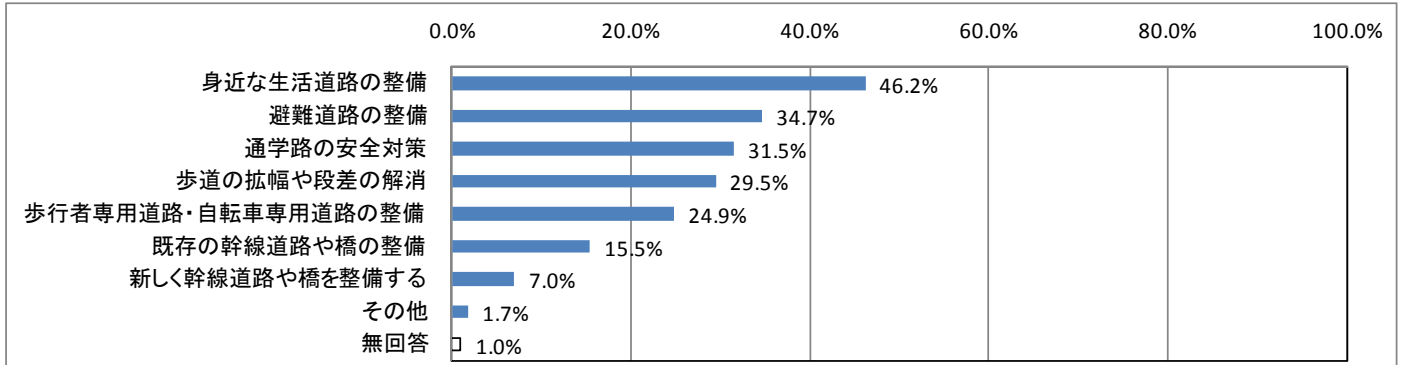


問2 今後のまちづくりにおいて力を入れるべき分野

（問3）道路の整備について何を重視すべきか

[選択肢のうちあてはまるものを最大2つまで]

「身近な生活道路の整備」が46.2%と最も多く、次いで「避難道路の整備」34.7%、「通学路の安全対策」31.5%となっています。

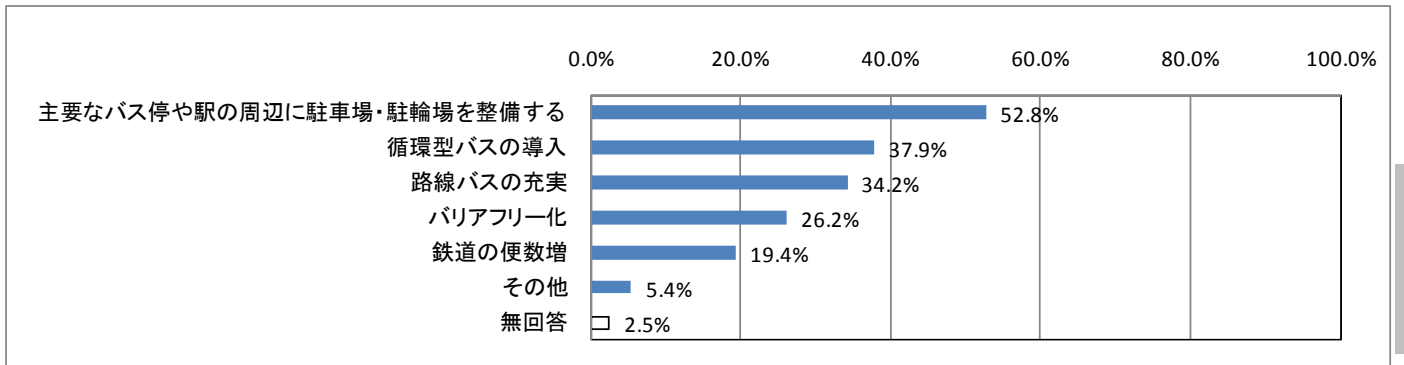


問3 道路の整備について重視すべきこと

（問4）公共交通機関の整備について何を重視すべきか

[選択肢のうちあてはまるものを最大2つまで]

「主要なバス停や駅の周辺に駐車場・駐輪場を整備する」が52.8%と最も多く、次いで「循環型バスの導入」37.9%、「路線バスの充実」34.2%となっています。

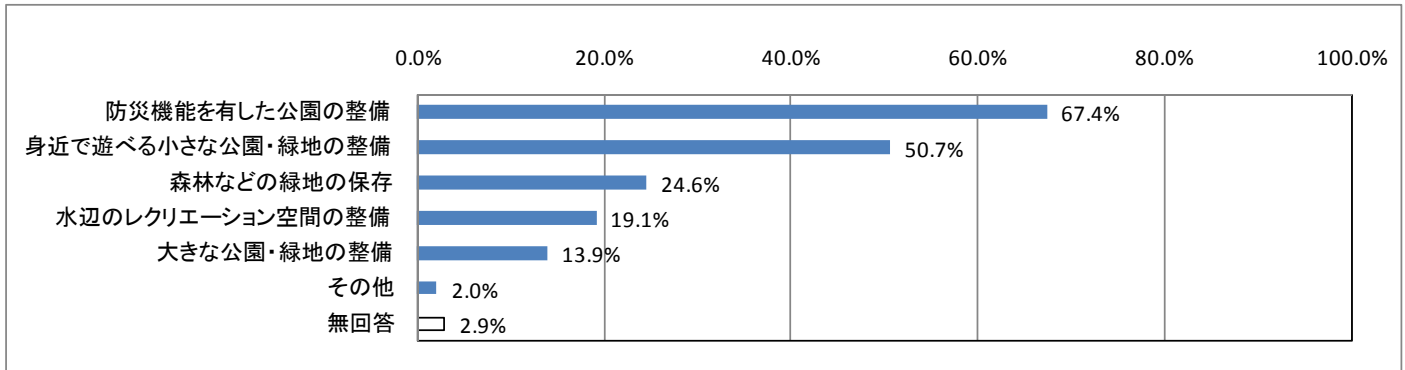


問4 公共交通機関の整備について重視すべきこと

(問5) 公園・緑地の整備について何を重視すべきか

[選択肢のうちあてはまるものを最大2つまで]

「防災機能を有した公園の整備」が67.4%と最も多く、次いで「身近で遊べる小さな公園・緑地の整備」50.7%、「森林などの緑地の保存」24.6%となっています。

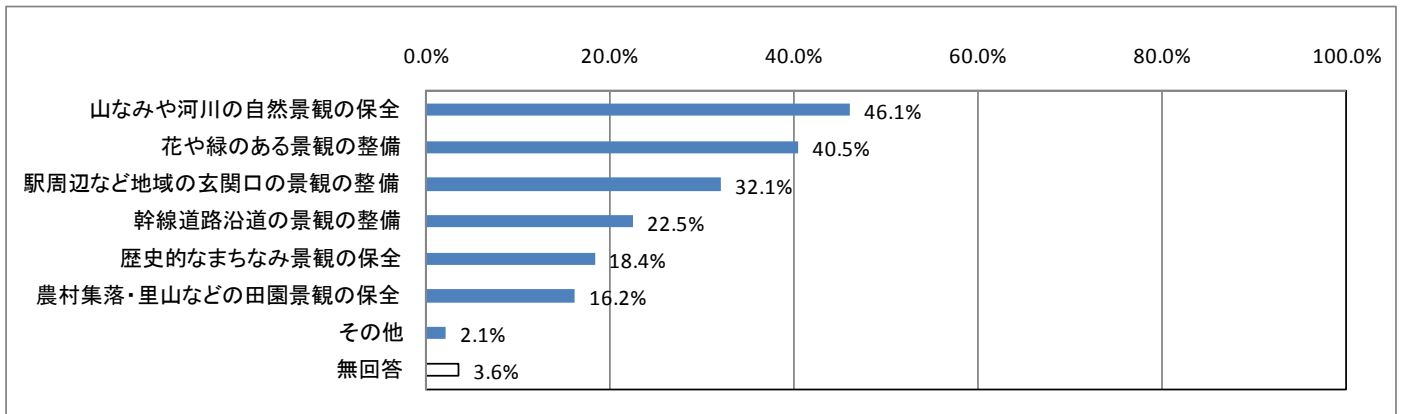


問5 公園・緑地の整備について重視すべきこと

(問6) 良好な景観形成について何を重視すべきか

[選択肢のうちあてはまるものを最大2つまで]

「山なみや河川の自然景観の保全」が46.1%と最も多く、次いで「花や緑のある景観の整備」40.5%、「駅周辺など地域の玄関口の景観の整備」32.1%となっています。

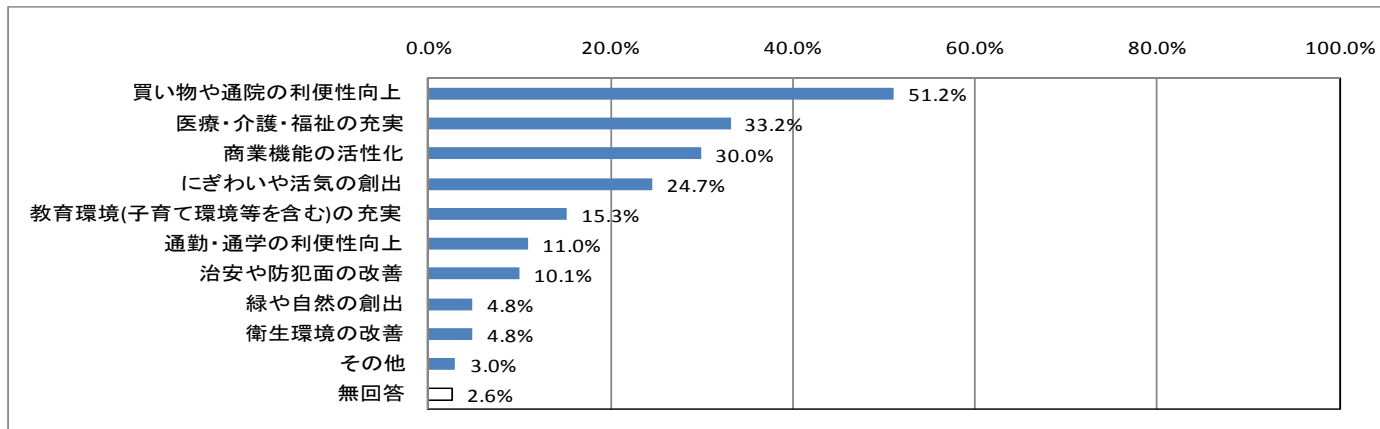


問6 良好な景観形成について重視すべきこと

(問7) まちなか居住を促すためにはどういった事が重要か

[選択肢のうちあてはまるものを最大2つまで〇]

「買い物や通院の利便性向上」が51.2%と最も多く、次いで「医療・介護・福祉の充実」33.2%、「商業機能の活性化」30.0%となっています。

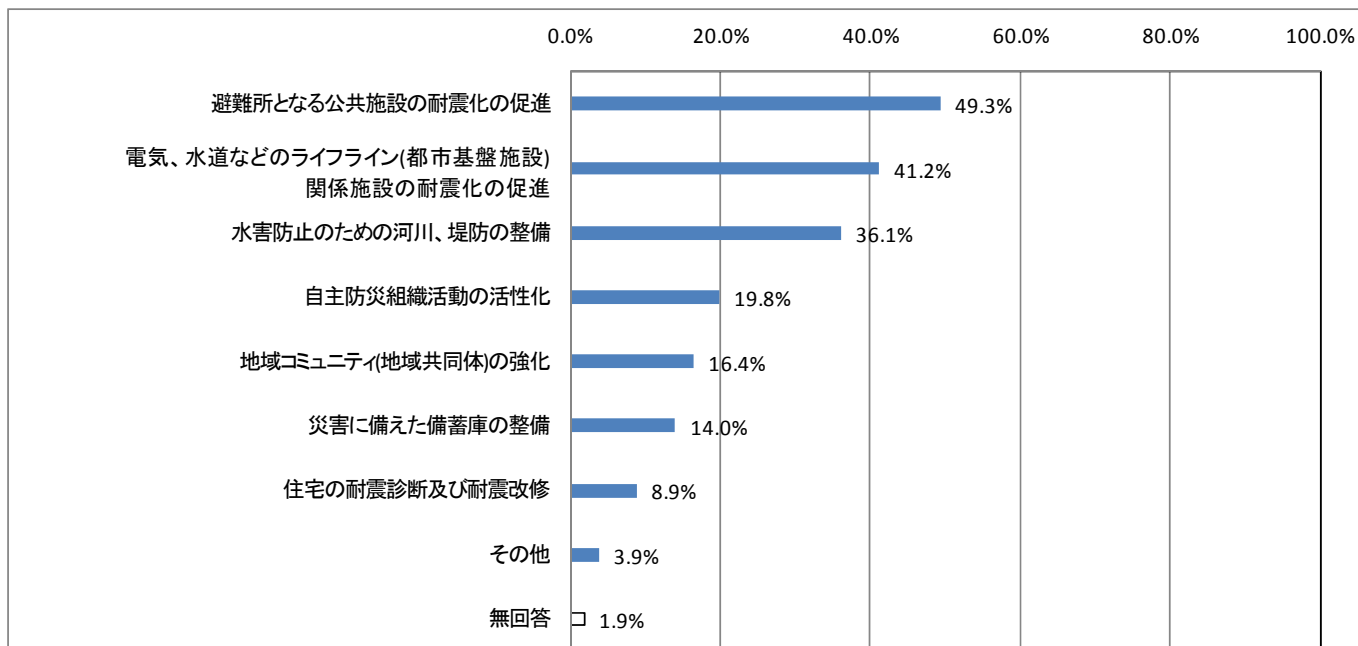


問7 まちなか居住を促すために重要なこと

(問8) 地震や大規模災害に備え、今後どのようなことが必要か

[選択肢のうちあてはまるものを最大2つまで〇]

「避難所となる公共施設の耐震化の促進」が49.3%と最も多く、次いで「電気・水道などのライフライン(都市基盤施設)関係施設の耐震化の促進」41.2%、「水害防止のための河川、堤防の整備」36.1%となっています。

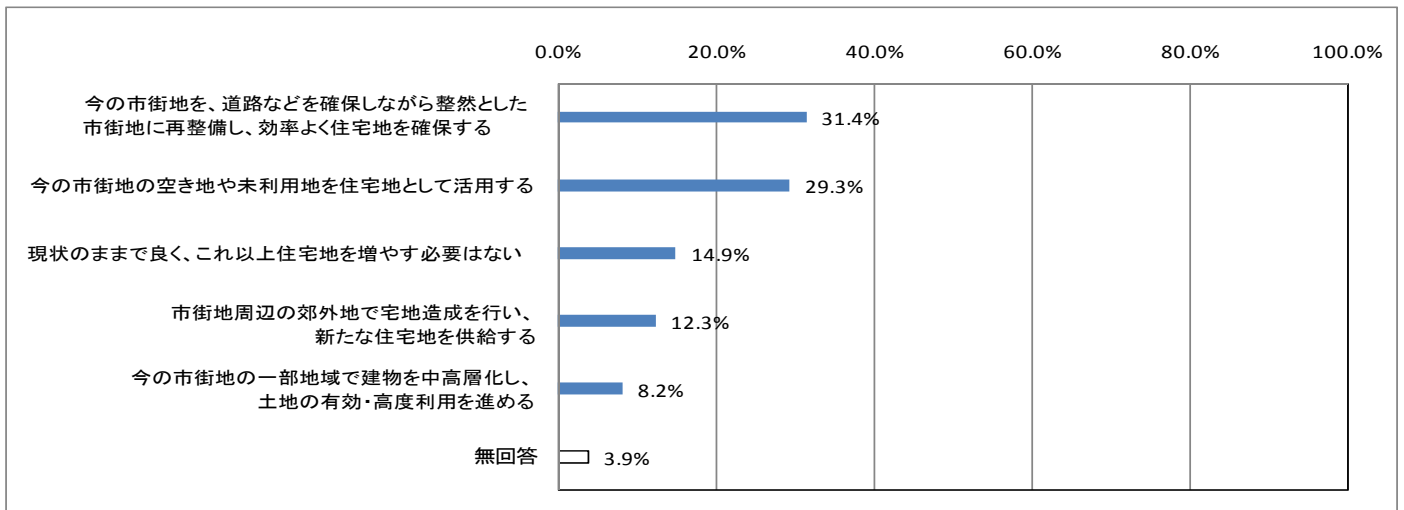


問8 地震や大規模災害への備えとして必要なこと

(問9)人口の定住化の受け皿となる住宅地を確保するための土地利用のあり方についてどう思うか

[選択肢のうちあてはまるもの1つに○]

「今の市街地を、道路などを確保しながら整然とした市街地に再整備し、効率よく住宅地を確保する」が31.4%と最も多く、次いで「今の市街地の空き地や未利用地を住宅地として活用する」29.3%、「現状のままで良く、これ以上住宅地を増やす必要はない」14.9%となっています。

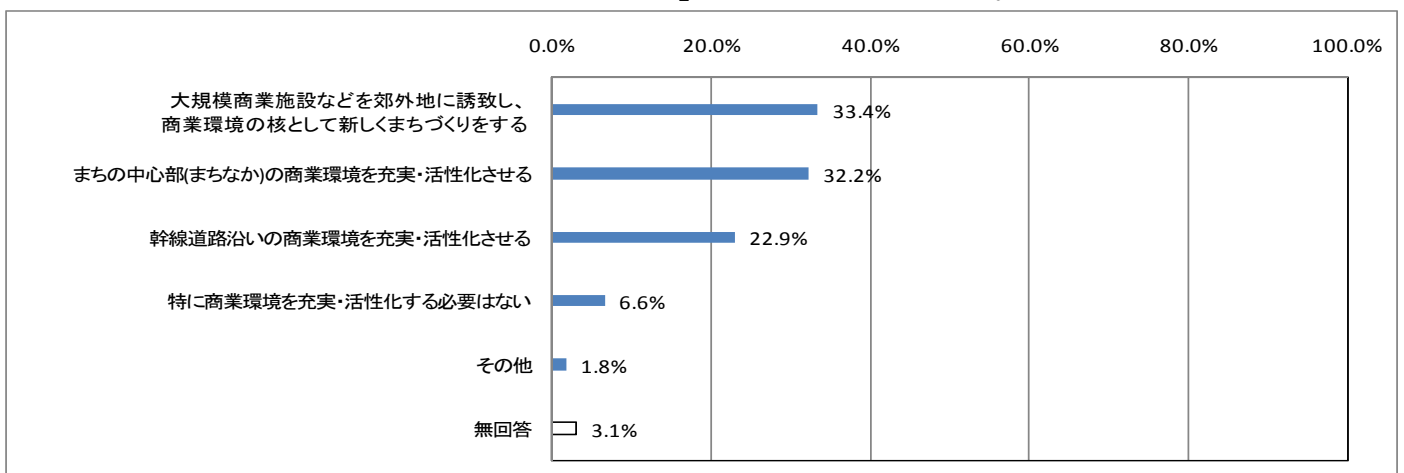


問9 住宅地を確保するための土地利用のあり方

(問10) 今後の商業のあり方についてどう思うか

[選択肢のうちあてはまるもの1つに○]

「大規模商業施設などを郊外地に誘致し、商業環境の核として新しくまちづくりをする」が33.4%と最も多く、次いで「まちの中心部(まちなか)の商業環境を充実・活性化させる」32.2%、「幹線道路沿いの商業環境を充実・活性化させる」22.9%となっています。

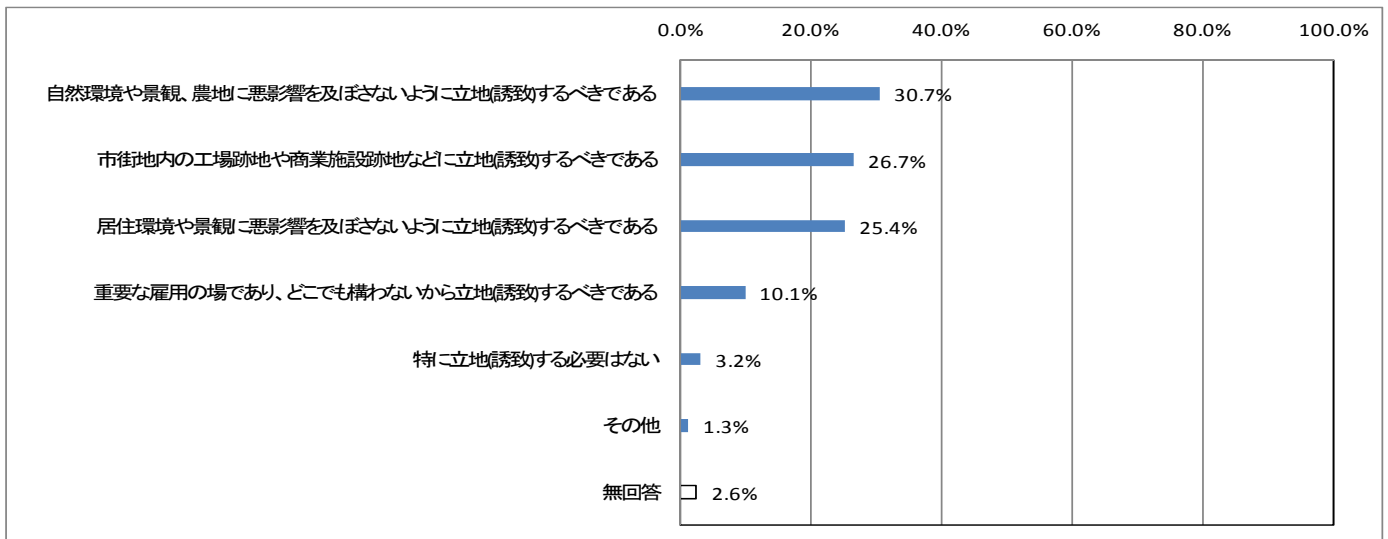


問10 今後の商業のあり方

(問 11) 企業・工場の誘致する場合、どういったことに配慮して立地（誘致）すべきか

[選択肢のうちあてはまるもの1つに○]

「自然環境や景観、農地に悪影響を及ぼさないように立地（誘致）すべきである」が30.7%と最も多く、次いで「市街地内の工場跡地や商業施設跡地などに立地（誘致）すべきである」26.7%、「居住環境や景観に悪影響を及ぼさないように立地（誘致）すべきである」25.4%となっています。

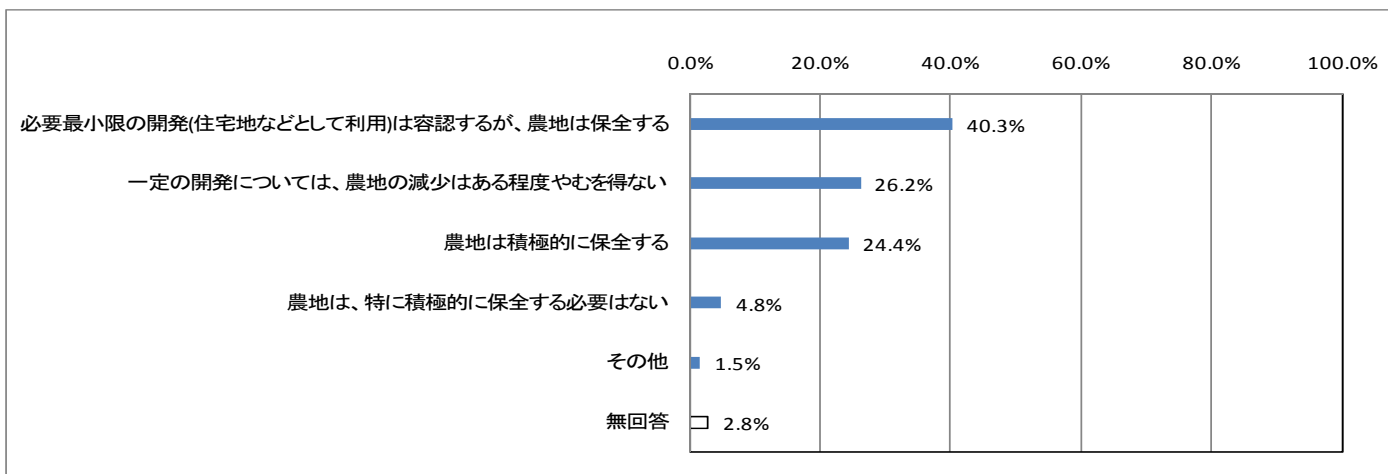


問11 企業・工場を立地（誘致）する場合に配慮すべきこと

(問 12) 今後の農地のあり方についてどう思うか

[選択肢のうちあてはまるもの1つに○]

「必要最小限の開発（住宅地などとして利用）は容認するが、農地は保全する」が40.3%と最も多く、次いで「一定の開発については、農地の減少はある程度やむを得ない」26.2%、「農地は積極的に保全する」24.4%となっています。



問12 今後の農地のあり方

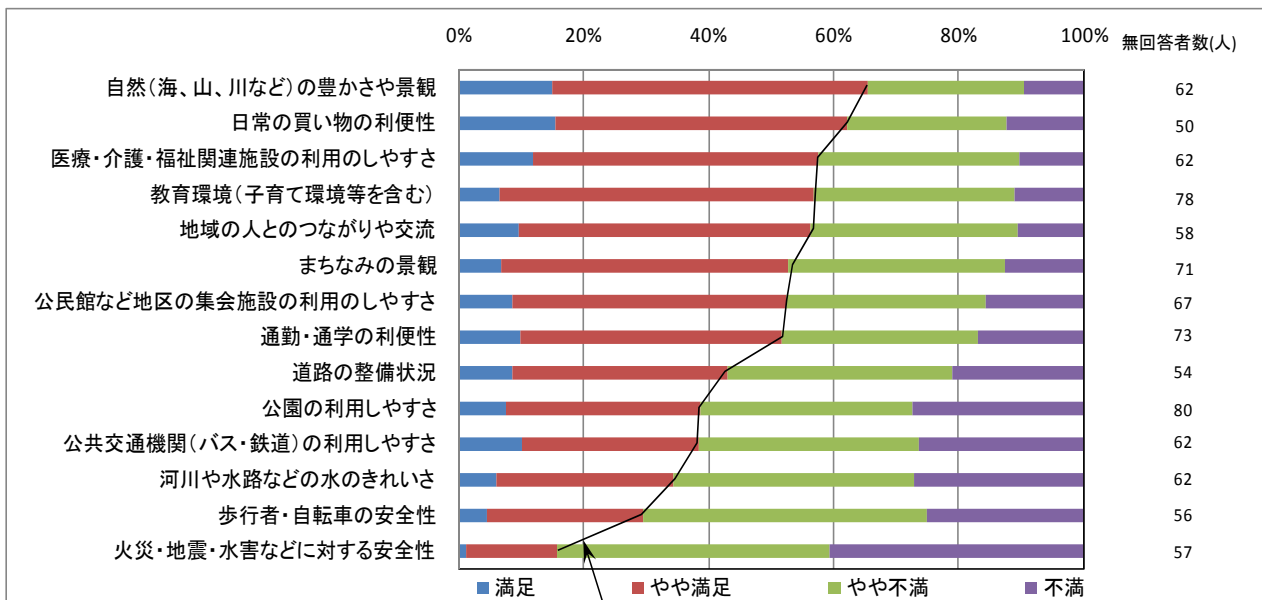
(2) お住まいの地域（小学校区単位）について

〔問 13〕 お住まいの地域（小学校区単位）の生活環境についてどの程度満足しているか

〔それぞれの項目について満足、やや満足、やや不満、不満の4つのうちから1つに○〕

「満足」、「やや満足」と答えた中では、「自然(海、山、川)の豊かさや景観」が65.4%と最も多く、次いで「日常の買い物の利便性」62.2%、「医療・介護・福祉関連施設の利用のしやすさ」57.5%となっています。

「不満」、「やや不満」と答えた中では、「火災・地震・水害などに対する安全性」が84.2%と最も多く、次いで「歩行者・自転車の安全性」70.4%、「河川や水路などの水のきれいさ」65.5%となっています。



市民全体の、生活環境に関する満足・不満足境界

問13 生活環境の満足度

※問 13 の回答割合は、満足、やや満足、やや不満、不満の各項目の回答数を有効回答者数（回収数から無回答者数を引いたもの）で除し、回答割合の合計が100%になるよう調整しています。

問 13 生活環境の満足度（単位：％）

項目	満足	やや満足	満足小計	やや不満	不満	不満小計
自然（海、山、川など）の豊かさや景観	15.0	50.5	65.4	25.1	9.5	34.6
日常の買い物の利便性	15.6	46.6	62.2	25.5	12.3	37.8
医療・介護・福祉関連施設の利用のしやすさ	12.0	45.5	57.5	32.1	10.4	42.5
教育環境（子育て環境等を含む）	6.5	50.3	56.8	32.1	11.1	43.2
地域の人とのつながりや交流	9.7	46.6	56.3	33.0	10.7	43.7
まちなみの景観	6.8	45.9	52.7	34.8	12.6	47.3
公民館など地区の集会施設の利用のしやすさ	8.7	43.9	52.6	31.9	15.6	47.4
通勤・通学の利便性	9.9	41.8	51.6	31.4	16.9	48.4
道路の整備状況	8.7	34.3	43.0	36.1	20.9	57.0
公園の利用のしやすさ	7.7	31.0	38.7	33.9	27.4	61.3
公共交通機関（バス・鉄道）の利用のしやすさ	10.3	28.2	38.5	35.2	26.3	61.5
河川や水路などの水のきれいさ	6.2	28.2	34.5	38.3	27.2	65.5
歩行者・自転車の安全性	4.7	24.9	29.6	45.3	25.1	70.4
火災・地震・水害などに対する安全性	1.3	14.5	15.8	43.6	40.6	84.2

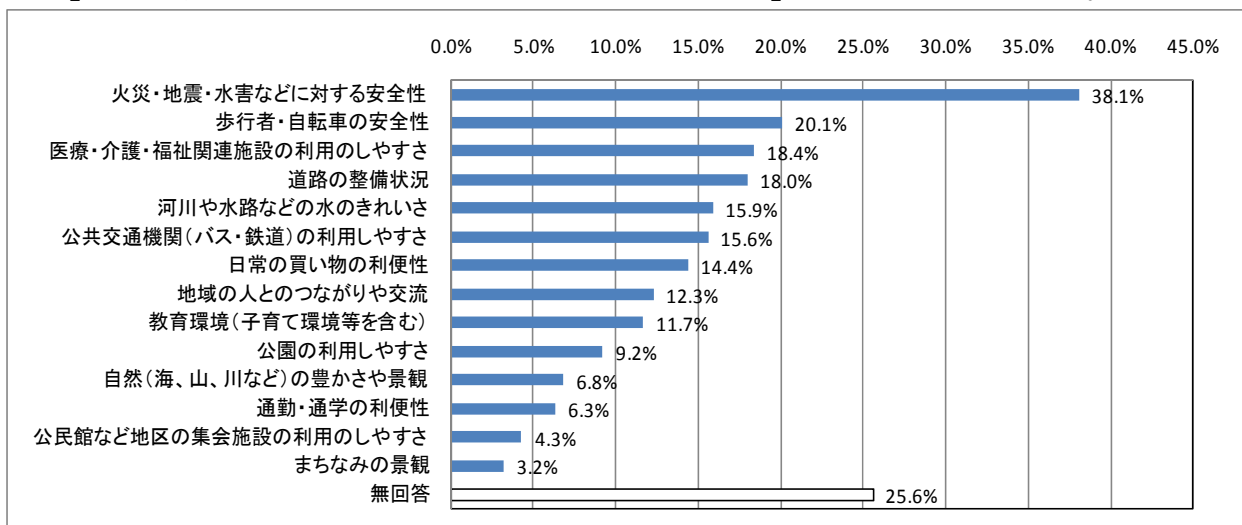
（※満足小計＝「満足」＋「やや満足」）

（※不満小計＝「不満」＋「やや不満」）

（問 14）生活環境の中で、最も大切だと思うもの

〔選択肢のうちあてはまるものを最大3つまで〇〕

「火災・地震・水害などに対する安全性」が38.1%と最も多く、次いで「歩行者・自転車の安全性」20.1%、「医療・介護・福祉関連施設の利用のしやすさ」18.4%となっています。



問 14 生活環境の中で最も大切なもの

(問 14) 最も大切だと思う生活環境について選んだ理由

[自由記入回答]

最も大切だと思われる生活環境の上位 5 位のうち、その選んだ理由上位 3 つは以下のとおりとなっています。

1 位 火災、地震、水害などに対する安全性 (38.1%)

1	125 人	東日本大震災により、地震や津波に対して不安を感じており、市へ対策を望んでいる。
2	53 人	現在、避難所に指定されている施設の老朽化等の安全性について不安を感じている、または避難所を確保するべきと考えている。
3	43 人	津波発生時の避難について、居住地近くに高い建物や高台がないとの指摘、または避難にかかる時間について不安を感じている。

※東南海、南海地震発生時を想定した意見が多数寄せられている。

2 位 歩行者、自転車の安全性 (20.1%)

1	67 人	歩道、車道及び自転車道の分離がされていないことを指摘。
2	27 人	道路幅の狭さと交通量（大型車を含む）の多さを指摘。
3	15 人	交通マナーの悪さを指摘。

※通学路の危険性を指摘する声が多数寄せられている。

3 位 医療、介護、福祉関連施設の利用のしやすさ (18.4%)

1	34 人	医療・介護・福祉のいずれかについて費用面、サービス面、通院のしやすさ等の要望をもっている。
2	23 人	高齢社会に対応できるように医療・介護・福祉分野は重要と考える。
3	21 人	医療機関が近くにあることで生活に安心感や便利さを感じている。

※高齢者、子供が利用する際の問題点が多数寄せられている。

4 位 道路の整備状況 (18.0%)

1	47 人	道路の狭さを感じている、または狭い道路での交通量の多さについて危険を感じている。
2	46 人	道路の凹凸や舗装の悪さを感じている。
3	6 人	道路に水たまりが多い、または雨水により冠水しやすいと感じている。

※特に生活道路の整備を要望する声が多く寄せられている。

5 位 河川や水路などの水のきれいさ (15.9%)

1	81 人	河川、水路がゴミやヘドロ、土砂により汚れており、流れが悪くなっていると感じている。
2	11 人	河川や水路にゴミ（粗大ゴミを含む）を捨てる人がいるとの指摘。
3	5 人	水路の改修が進んでいないとの指摘。

※河川や水路の汚れと改善を要望する声が多く寄せられている。

■生活環境の満足度と重要度の関係

- ・生活環境の各項目に対する市民ニーズを相対比較するため、下記の計算方法により満足度と重要度を評点化し、満足度の評点を横軸、重要度の評点を縦軸とした図を次ページに作成しました。
- ・満足度と重要度は各項目の評点の合計を 14 項目で除したものを平均値とし、満足度平均と重要度平均の 2 本の補助軸を設定することで分類しています。

■満足度の評点化

下記の点数にそれぞれの回答数を乗じ、それらの合計を回答数で除したものを評点とします。

「満足」：4 点 「やや満足」：3 点 「やや不満」：2 点 「不満」：1 点

$$\text{満足度} = \frac{\text{「満足」} \times 4 \text{ 点} + \text{「やや満足」} \times 3 \text{ 点} + \text{「やや不満」} \times 2 \text{ 点} + \text{「不満」} \times 1 \text{ 点}}{\text{回答数}}$$

■重要度の評点化

下記の点数にそれぞれの回答数を乗じ、それらの合計を回答数で除したものを評点とします。

「重要(最も大切)」な項目として回答されたもの : 4 点

「重要(最も大切)」な項目として回答されなかったもの : 1 点

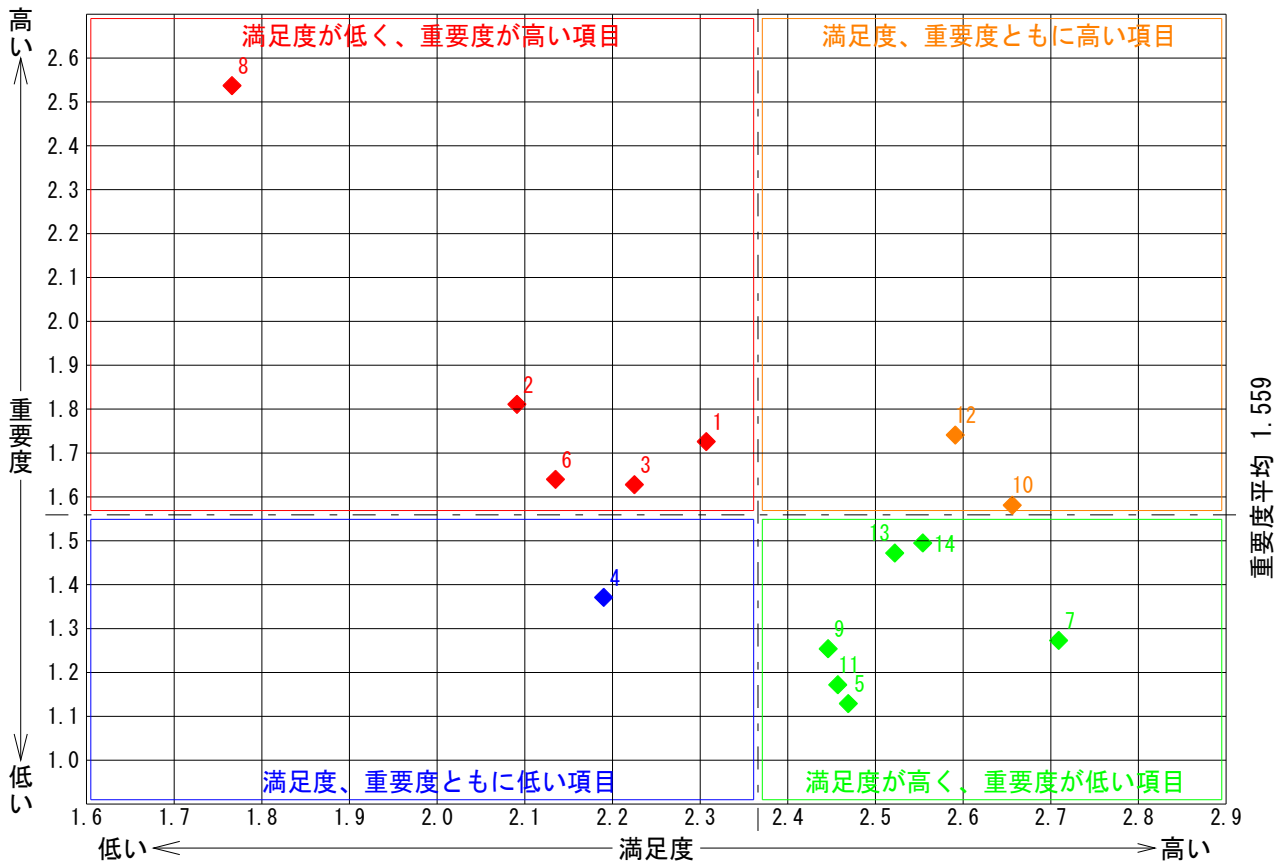
$$\text{重要度} = \frac{\text{「重要(最も大切)」} \times 4 \text{ 点} + \text{「重要(最も大切)と思わない」} \times 1 \text{ 点}}{\text{回答数}}$$

項目	満足度	重要度
1. 道路の整備状況	2.307	1.726
2. 歩行者・自転車の安全性	2.091	1.811
3. 公共交通機関(バス・鉄道)の利用のしやすさ	2.225	1.628
4. 公園の利用のしやすさ	2.190	1.371
5. まちなみの景観	2.469	1.129
6. 河川や水路などの水のきれいさ	2.135	1.640
7. 自然(海、山、川など)の豊かさや景観	2.709	1.273
8. 火災・地震・水害などに対する安全性	1.766	2.537
9. 通勤・通学の利便性	2.446	1.254
10. 日常の買い物の利便性	2.656	1.581
11. 公民館など地区の集会施設の利用のしやすさ	2.457	1.172
12. 医療・介護・福祉関連施設の利用のしやすさ	2.591	1.741
13. 教育環境(子育て環境等を含む)	2.522	1.472
14. 地域の人とのつながりや交流	2.554	1.495
平均値	2.366	1.559

※網かけは、満足度または重要度の平均値を下回っている値を示しています。

■生活環境の満足度と重要度の関係図

満足度平均 2.366



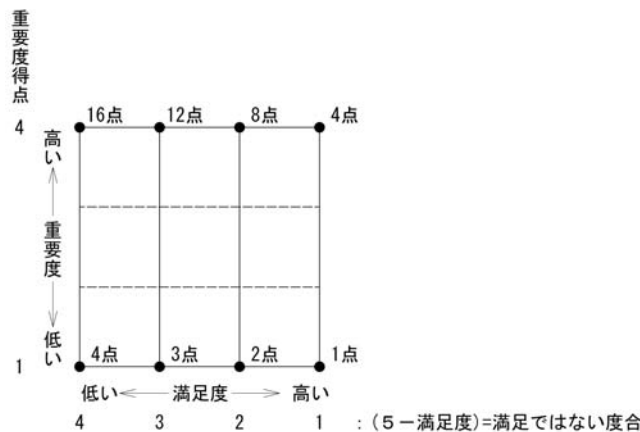
■生活環境の満足度と重要度の分類表

番号	満足度が低く、重要度が高い項目	番号	満足度が高く、重要度も高い項目
1	道路の整備状況	10	日常の買い物の利便性
2	歩行者・自転車の安全性	12	医療・介護・福祉関連施設の利用のしやすさ
3	公共交通機関(バス・鉄道)の利用のしやすさ		
6	河川や水路などの水のきれいさ		
8	火災・地震・水害などに対する安全性		
番号	満足度が低く、重要度も低い項目	番号	満足度が高く、重要度が低い項目
4	公園の利用のしやすさ	5	まちなみの景観
		7	自然(海、山、川など)の豊かさや景観
		9	通勤・通学の利便性
		11	公民館など地区の集会施設の利用のしやすさ
		13	教育環境(子育て環境等を含む)
		14	地域の人とのつながりや交流

■生活環境のニーズ得点

- ・生活環境の満足度と重要度の関係を1つの指標で表すため、下記の計算方法により、ニーズ得点を算出し、項目別のニーズ得点を下表に表しました。
- ・ニーズ得点の範囲は1～16点となり、満足度が低く、重要度が高いほど高得点となり、市民ニーズが相対的に高いと考えられます。

$$\text{ニーズ得点} = (5 - \text{満足度評点}) \times \text{重要度評点}$$



ニーズ得点は、「火災・地震・水害などに対する安全性」(8.206)が最も高く、次いで「歩行者・自転車の安全性」(5.269)、「河川や水路などの水のきれいさ」(4.699)となっています。

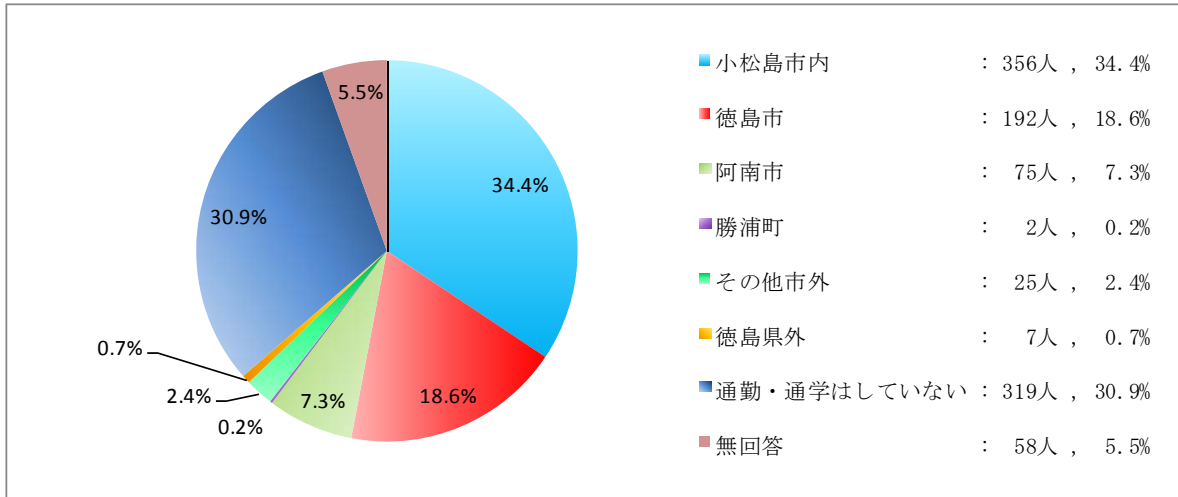
順位	項目	ニーズ得点
1	火災・地震・水害などに対する安全性	8.206
2	歩行者・自転車の安全性	5.269
3	河川や水路などの水のきれいさ	4.699
4	道路の整備状況	4.646
5	公共交通機関(バス・鉄道)の利用のしやすさ	4.517
6	医療・介護・福祉関連施設の利用のしやすさ	4.194
7	公園の利用のしやすさ	3.851
8	日常の買い物の利便性	3.707
9	地域の人とのつながりや交流	3.657
10	教育環境(子育て環境等を含む)	3.647
11	通勤・通学の利便性	3.201
12	公民館など地区の集会施設の利用のしやすさ	2.980
13	自然(海、山、川など)の豊かさや景観	2.916
14	まちなみの景観	2.857

(3) 普段の生活について

(問 15) 従業地・通学地

[選択肢のうち最もあてはまるもの1つに○]

通勤・通学をしている中では、「小松島市内」が34.4%と最も多く、次いで「徳島市」18.6%、「阿南市」7.3%となっています。

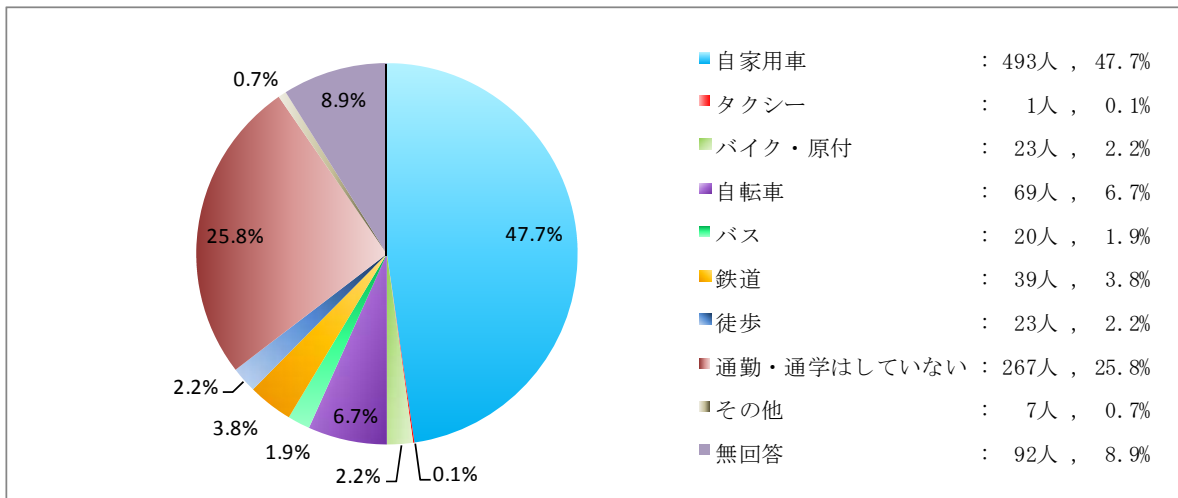


問15 従業地・通学地

(問 16) 通勤・通学で利用している主な交通手段

[選択肢のうち最もあてはまるもの1つに○]

通勤、通学をしている中では、「自家用車」が47.7%と最も多く、次いで「自転車」6.7%、「鉄道」3.8%となっています。

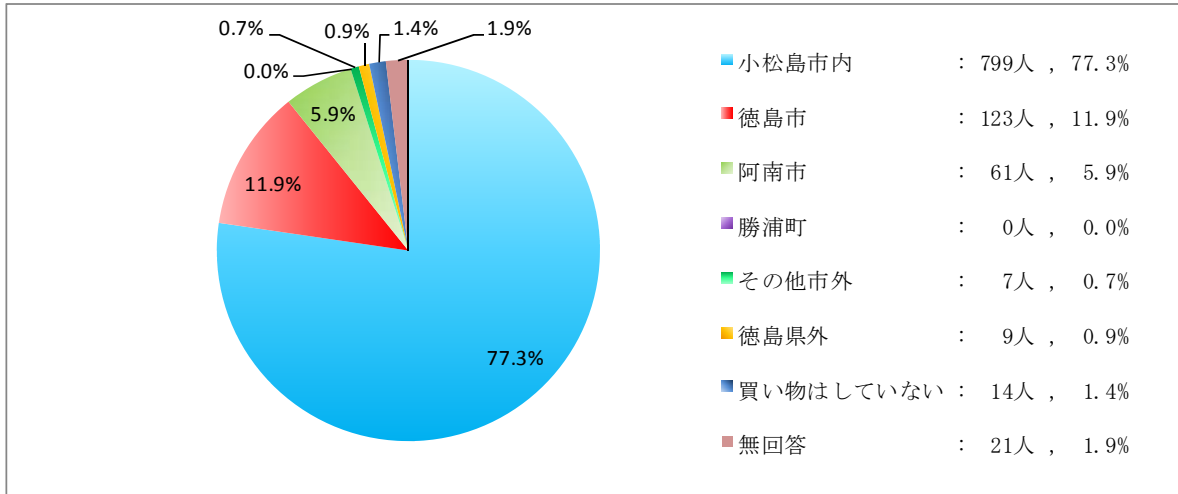


問16 通勤・通学で利用している主な交通手段

(問 17) 日常の買い物の行き先

[選択肢のうち最もあてはまるもの1つに○]

「小松島市内」が77.3%と最も多く、次いで「徳島市」11.9%、「阿南市」5.9%となっています。

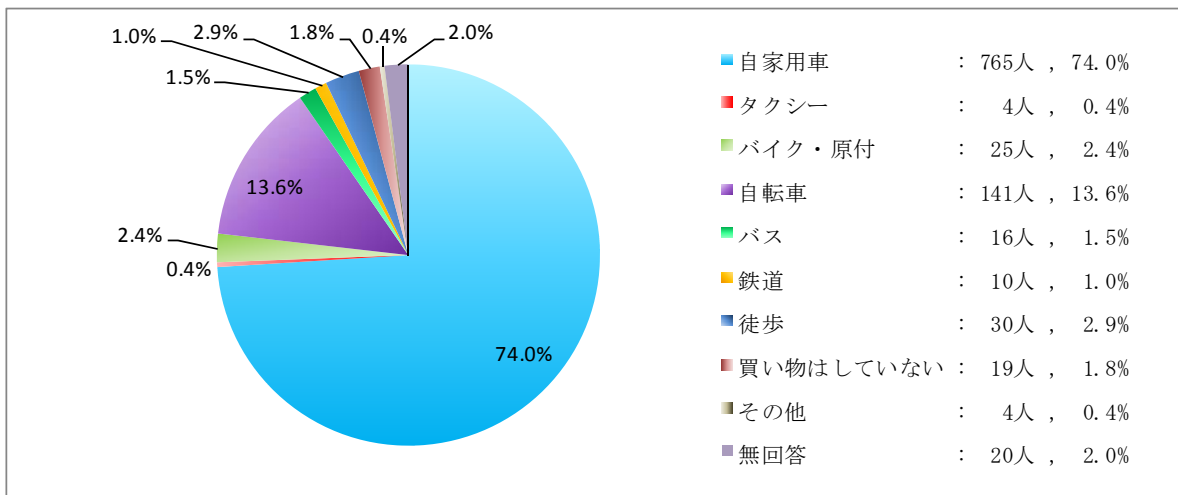


問17 日常の買い物の行き先

(問 18) 日常の買い物で利用している主な交通手段

[選択肢のうち最もあてはまるもの1つに○]

「自家用車」が74.0%と最も多く、次いで「自転車」13.6%、「徒歩」2.9%となっています。

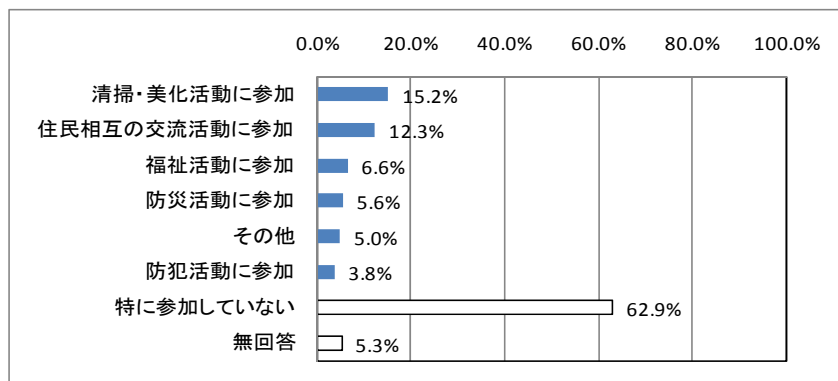


問18 日常の買い物で利用している主な交通手段

(問 19) 普段どのようなコミュニティ活動（地域社会活動）に参加しているか

[選択肢のうちあてはまるものすべてに○]

「特に参加していない」は全体の約 6 割を占め、参加している回答の中では、「清掃・美化活動に参加」が 15.2%と最も多く、次いで「住民相互の交流活動に参加」12.3%、「福祉活動に参加」6.6%となっています。

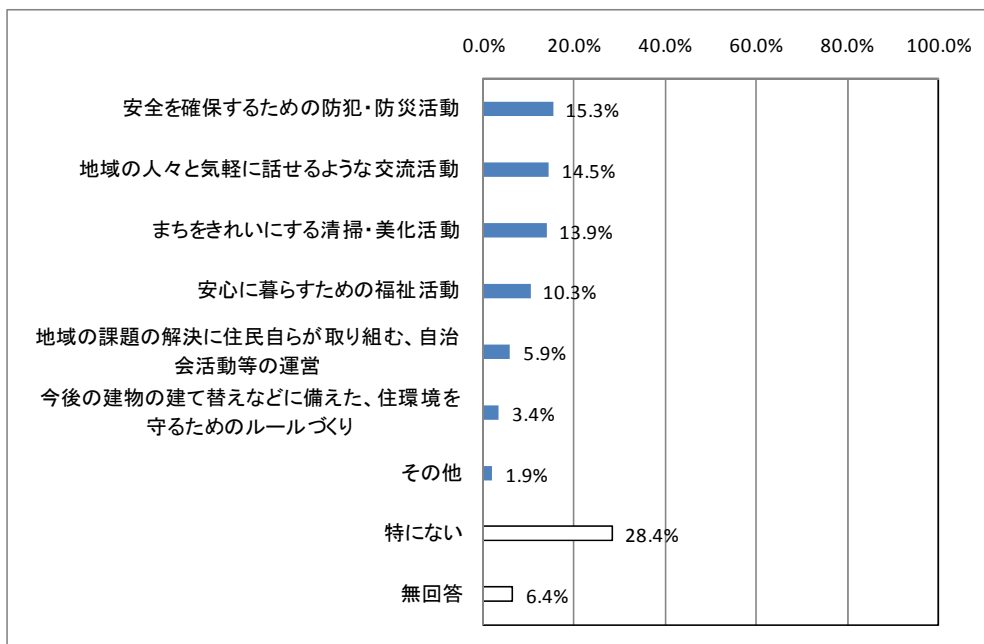


問19 普段参加しているコミュニティ活動

(問 20) 身近なまちを良くしていくためにこれから取り組んでいきたい活動

[選択肢のうち最もあてはまるもの1つに○]

「特にない」は全体の約 3 割を占め、取り組んでいきたい回答の中では、「安全を確保するための防犯・防災活動」が 15.3%と最も多く、次いで「地域の人々と気軽に話せるような交流活動」14.5%、「まちをきれいにする清掃・美化活動」13.9%となっています。

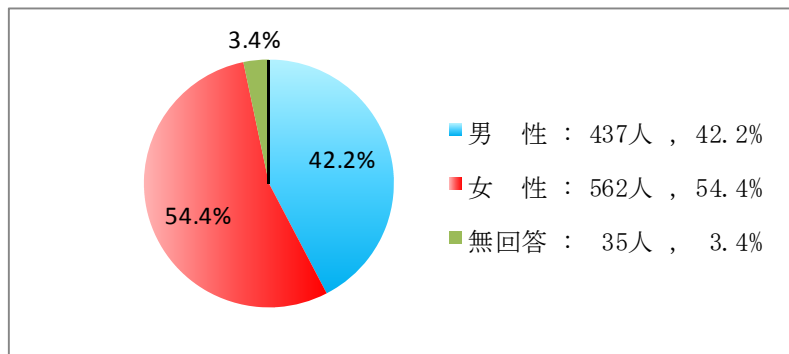


問20 身近なまちを良くしていくために取り組んでいきたい活動

(4) 回答者の属性

(問 21) 回答者の性別

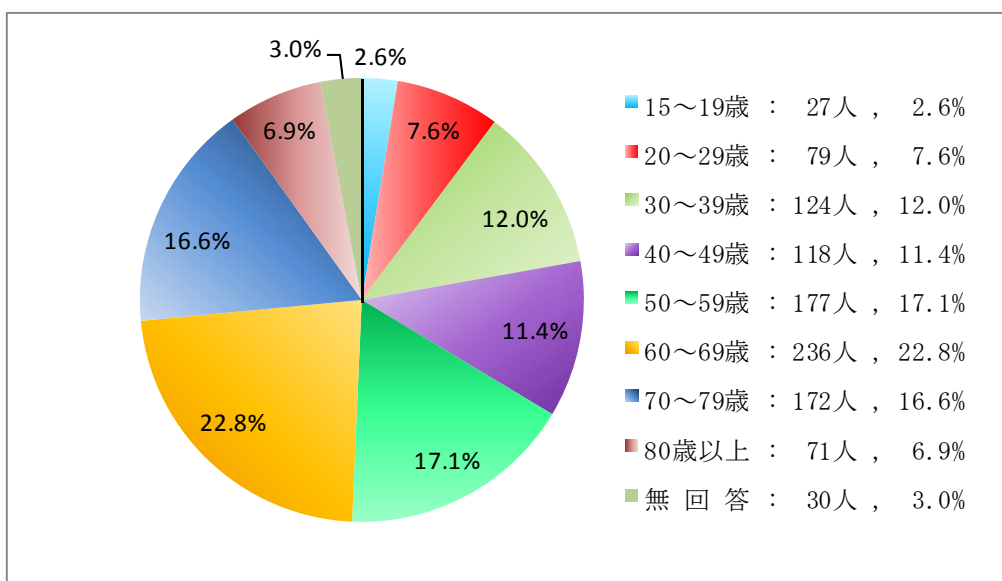
「女性」が54.4%、「男性」が42.2%となっています。



問21 回答者の性別

(問 22) 回答者の年齢

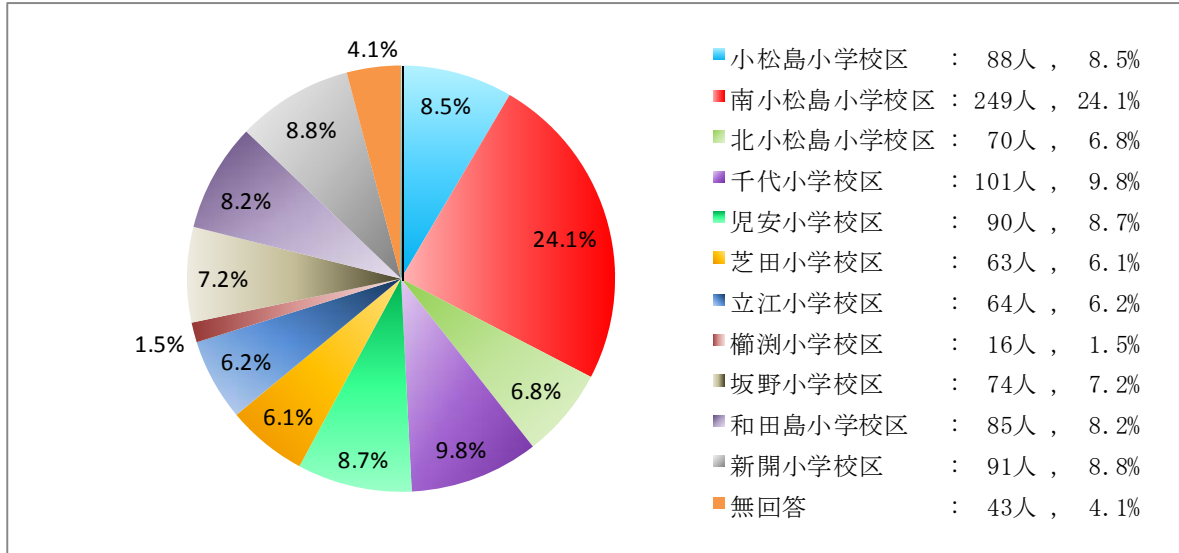
60歳代が22.8%と最も多く、次いで50歳代の17.1%、70歳代の16.6%となっています。



問22 回答者の年齢

(問 23) 回答者のお住まいの地域

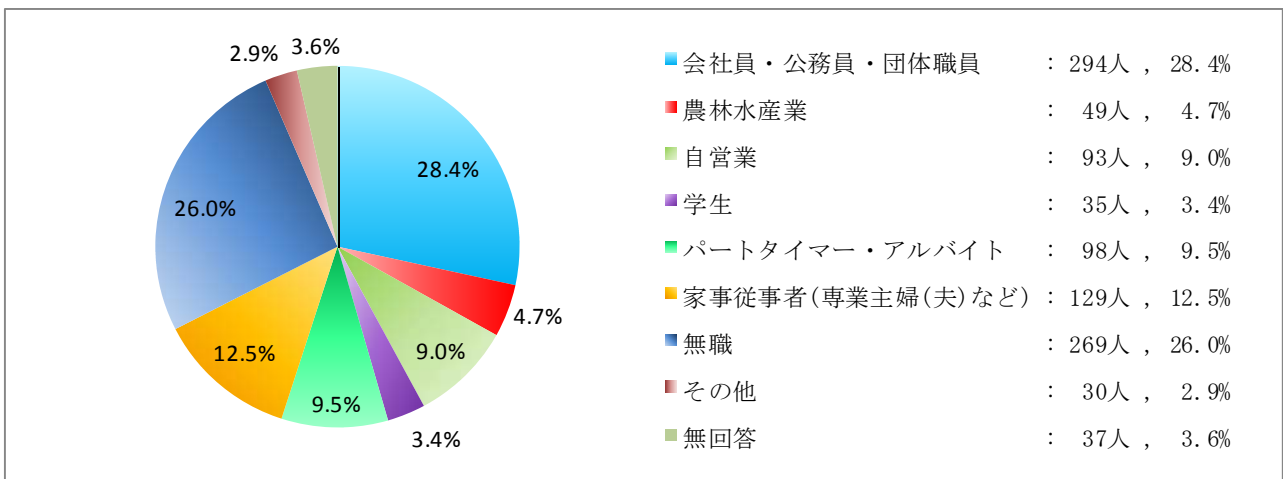
「南小松島小学校区」が 24.1%と最も多く、次いで「千代小学校区」9.8%、「新開小学校区」8.8%となっています。



問23 回答者の居住地

(問 24) 回答者の職業

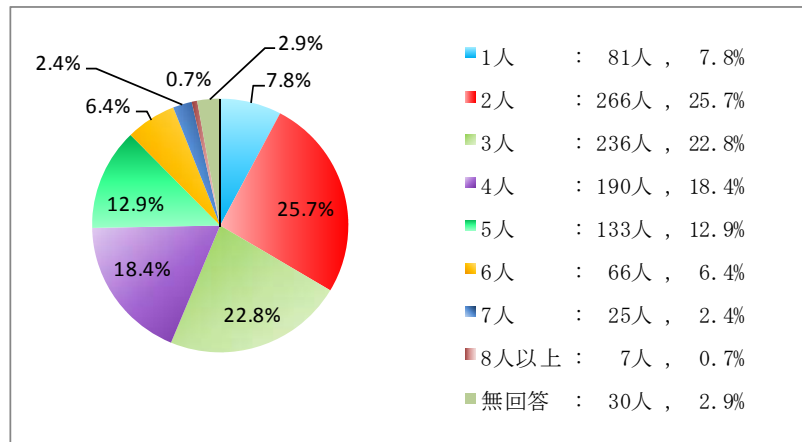
「会社員・公務員・団体職員」が 28.4%と最も多く、次いで「無職」26.0%、「家事従事者（専業主婦(夫)など）」12.5%となっています。



問24 回答者の職業

(問 25) 回答者の世帯人数

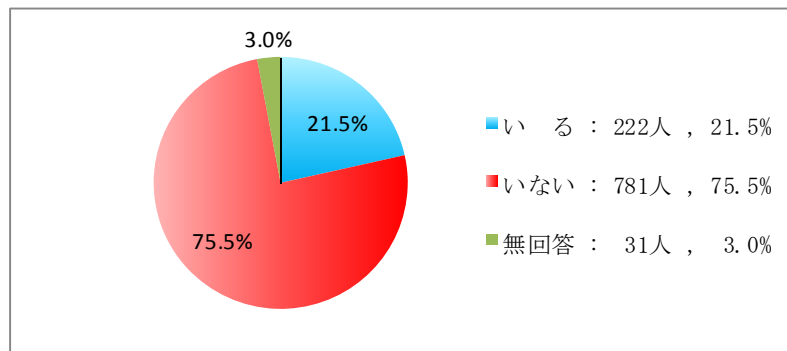
「2人」が25.7%と最も多く、次いで「3人」22.8%、「4人」18.4%となっています。



問25 回答者の世帯人数

(問 26) 中学3年生までの子供が家族にいるかどうか（回答者も含めて）

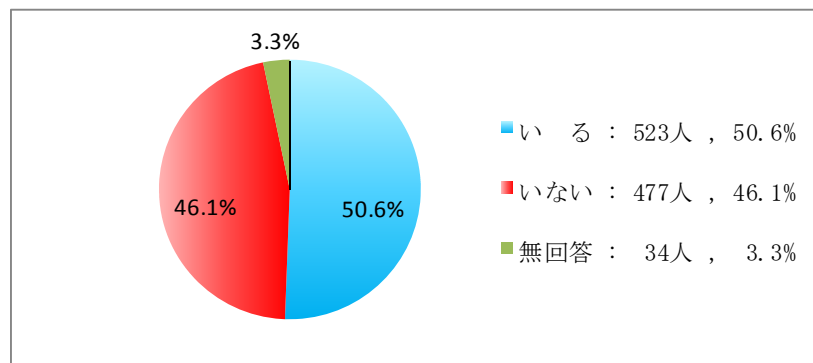
「いない」が約8割を占めます。



問26 中学3年生までの子どもの同居

(問 27) 65歳以上の方が家族にいるかどうか（回答者も含めて）

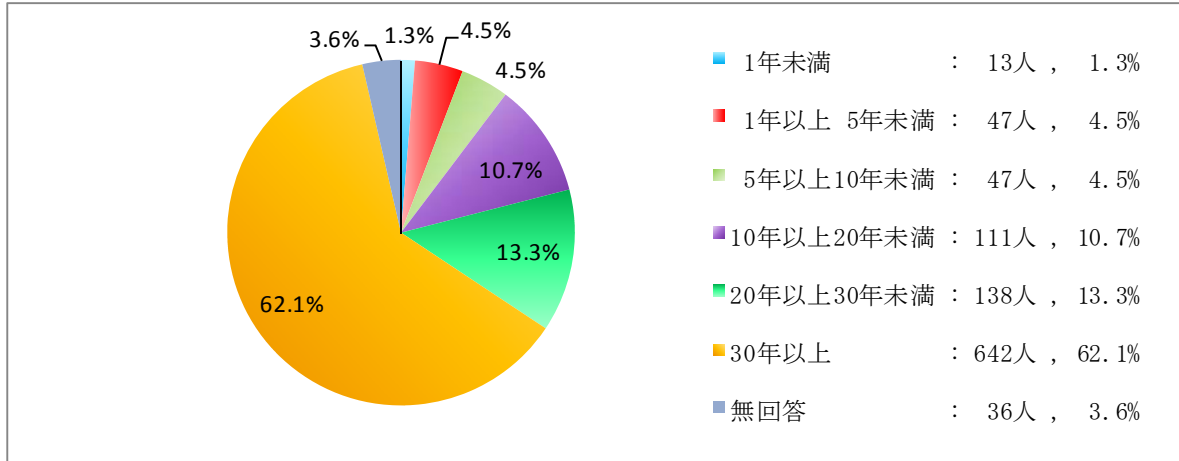
「いる」が約5割を占めます。



問27 65歳以上の方の同居

(問 28) 小松島市での居住期間

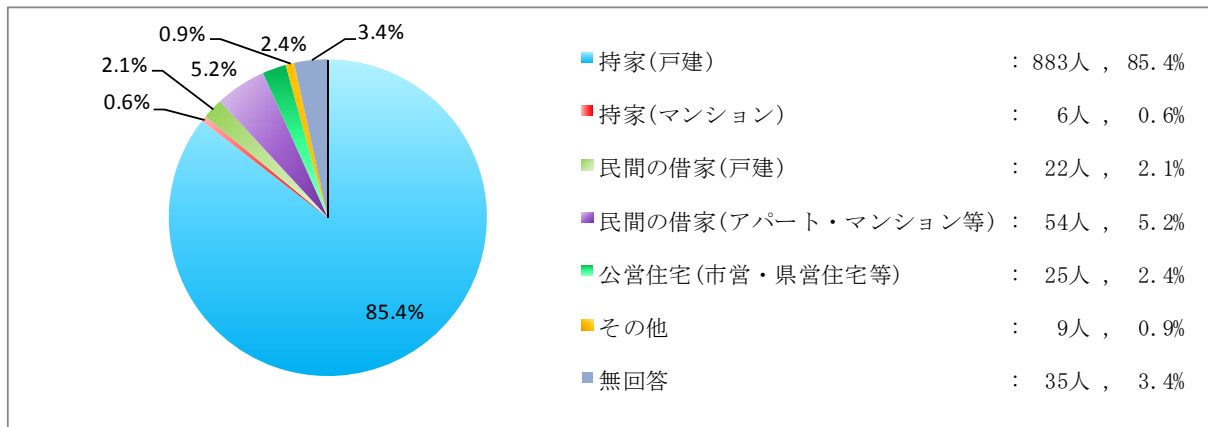
「30年以上」が62.1%と最も多く、次いで「20～30年未満」13.3%、「10～20年未満」10.7%と続いています。



問28 小松島市での居住期間

(問 29) 住まいの住宅の形態

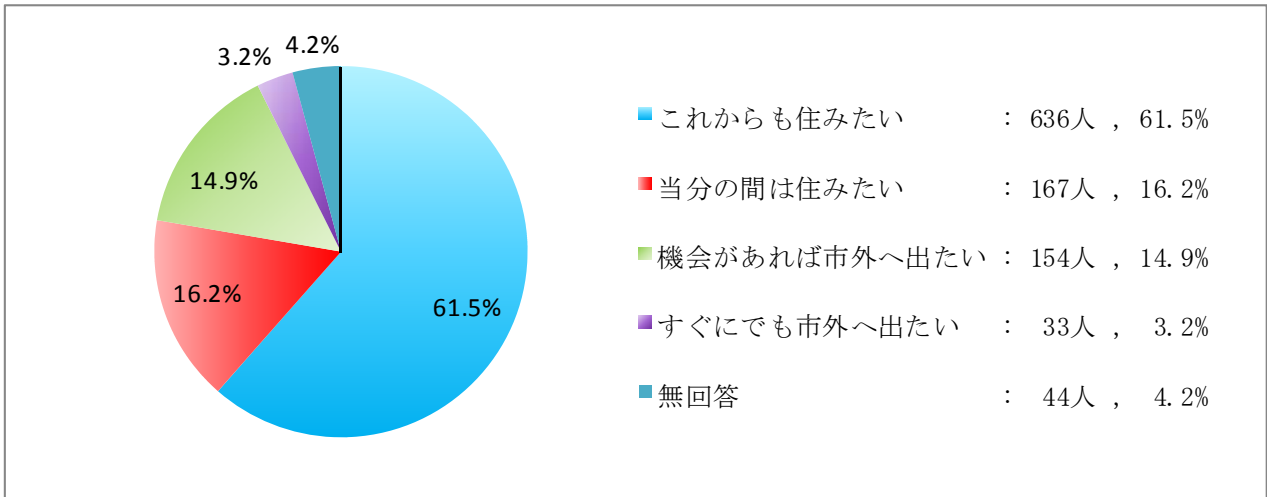
「持家（戸建）」が85.4%と最も多く、次いで「民間の借家（アパート・マンション等）」5.2%、「公営住宅（市営・県営住宅等）」2.4%となっています。



問29 住まいの住宅の形態

(問 30) これからも小松島市に住みたいか

「これからも住みたい」が61.5%と最も多く、次いで「当分の間は住みたい」16.2%、「機会があれば市外へ出たい」14.9%となっています。



問30 これからも小松島市に住みたいと思うか

資料3 まちづくりワークショップ

1 開催目的

小松島市都市計画マスタープランの策定にあたり、地域のまちづくりについて、よりきめ細かく市民の皆さまの意見やアイデアをいただく目的で、まちづくりワークショップを開催しました。

2 開催内容

ワークショップでは、参加者同士がグループを作り、「地域の資源」、「地域の課題」、「地域の将来像」の3つのテーマについて、意見やアイデアを出し合っていたきながら、ワークシートに整理し、参加者の方に発表していただきました。

3 開催状況

下表のとおり、市内12会場で開催し、199名（24班）の方にご参加いただきました。

開催日時（平成24年）	会場（対象地域）	参加人数	班数
7月12日（木曜日） 19時～21時	新開公民館（新開小学校区）	27名	4班
	立江公民館（立江小学校区）	9名	1班
7月13日（金曜日） 19時～21時	櫛淵公民館（櫛淵小学校区）	9名	1班
	坂野公民館（坂野小学校区）	21名	2班
7月17日（火曜日） 19時～21時	南小松島公民館（南小松島小学校区・北部）	14名	2班
	芝田公民館（芝田小学校区）	11名	1班
7月18日（水曜日） 19時～21時	小松島公民館（小松島小学校区）	16名	2班
	児安公民館（児安小学校区）	27名	3班
7月19日（木曜日） 19時～21時	北小松島公民館（北小松島小学校区）	18名	2班
	コミュニティー金磯会館（南小松島小学校区・南部）	24名	3班
7月20日（金曜日） 19時～21時	千代公民館（千代小学校区）	15名	2班
	和田島公民館（和田島小学校区）	8名	1班

4 各地域の結果概要

各地域の結果概要を次項から地域区分別に示します。（地域区分については、P67 地域区分の設定を参照してください。）

まちづくりワークショップ結果（概要）

○ 小松島・南小松島・北小松島・千代地域

- (1) 小松島小学校区
- (2) 南小松島小学校区・北部
- (3) 南小松島小学校区・南部
- (4) 北小松島小学校区
- (5) 千代小学校区

まちづくりワークショップの結果概要（小松島小学校区） 2012.7.18 開催 会場：小松島公民館 参加者数：16名 班数：2班

ワークショップの様子

写真：①（参加者どうしの意見交換）



写真：②（グループワークシート）



写真：③（参加者による意見発表）



ワークショップの主な意見・アイデア

地域の資源 (地域の良いところ、自慢できることなど)	地域の課題 (地域の良くないところ、改善したいところなど)	地域の将来像 (こんなふうになったらいいなあ)
<p>■生活に便利</p> <ul style="list-style-type: none"> 日赤病院、スーパー、生活に必要な店などが近くにある 憩いの場（しおかぜ公園など） 子育てしやすい（学校が近い） 水曜市や土曜市などの市場 港中心に商店多い <p>■文化財・歴史がある</p> <ul style="list-style-type: none"> 神社仏閣（出雲大社、八坂神社、地蔵寺、光善寺） 江戸後期の歴史あり（140年ほど） 西野家本宅、六田家 金長たぬきの生家がある <p>■自然</p> <ul style="list-style-type: none"> 水資源が豊富（寺の宝寿水、地蔵寺の清水） 山や海が近くにあり景色が良い 外開川のコイ（二条通り～日赤の向かいまで） <p>■地域の絆</p> <ul style="list-style-type: none"> 昔からの家が多い、中高年に顔見知りが多い 公民館活動をしっかりしている <p>■食料うまい</p> <ul style="list-style-type: none"> 野菜や魚がうまい <p>■人が集まれる施設</p> <ul style="list-style-type: none"> kocolo、ステーションパーク、たぬき広場、遊歩道 	<p>■自然災害</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難場所へ道路標識が無い 神田瀬川南の防災について 避難場所が少ない 耐震化が遅い 川の堤防の高さが低い 神田瀬川があるので津波の心配 <p>■都市基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> 狭い道路が多い 排水が悪い（大雨で水たまり） 下水道の整備 蓬来橋から南道、通学道、日開野に抜ける道 <p>■人口の減少</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減、空き家、空き地、空き店舗 他地域からの移住が少ない 町内の年齢が高齢化している、支える人が少ない <p>■産業、商店、工場の衰退</p> <ul style="list-style-type: none"> シャッター街になりつつある中心地 工場が減少（東洋紡・徳島化工） <p>■マナーの悪さ</p> <ul style="list-style-type: none"> タバコ、缶の投げ捨て、犬のフンなどマナーが悪い 川にゴミを捨てる人がいる <p>■防犯</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもを守るパトロールがない 街灯が古く、歩行者が危険 	<p>■人が集まるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> 港にラーメン街をつくる、歩行者天国 つり場をつくる 廃屋を利用してテーマ館などで人集め 二条通りにギャラリーホールをつくる <p>■防災施策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災に強いまちづくり 災害対策事業（地元建設業者の確保にもなる） <p>■道路整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 道が新しくなれば商店ができる、バイパスからの道を、日ノ峰山をトンネルで抜き、新浜へつなぐ <p>■まちなかを高齢者が楽しめるようなまち</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者の保養地として施設や設備を充実する（賭博場、温水プールなど建設） <p>■土地利用に取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> 借地が多いので新築が進まない、年寄りの住みやすい集合住宅には <p>■未使用農地の貸出（活用）</p> <ul style="list-style-type: none"> 農地の有効利用（貸し農園） <p>■企業誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> 小工場の誘致

ワークショップの様子

写真：①（参加者どうしの意見交換）



写真：②（グループワークシート）



写真：③（参加者による意見発表）



ワークショップの主な意見・アイデア

地域の資源 （地域の良いところ、自慢できることなど）	地域の課題 （地域の良くないところ、改善したいところなど）	地域の将来像 （こんなふうになったらいいなあ）
<p>■暮らしやすさ</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通アクセス（JR、徳バス、市バス） 日赤病院をはじめとして病院が多い 市の中心地域で何かにつけ便利 田畑と商店に近い 学校に近い <p>■歴史的な祭り</p> <ul style="list-style-type: none"> 花火、太鼓、屋台 横須の祭り 蛭子神社祭礼 <p>■地域のつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域のつながりが深い（祭り、防災、バーベキュー） 自主防災活動を一緒に行っている <p>■食べ物がおいしい</p> <ul style="list-style-type: none"> 鱧、竹ちくわ、フィッシュカツ、かまぼこなど 魚が新鮮、おいしい <p>■景観</p> <ul style="list-style-type: none"> 横須海岸があり、自然豊か 	<p>■防災</p> <ul style="list-style-type: none"> 津波の避難場所がない（高台） 横須地区に景観堤防を（金磯地区は完成） 防災対策情報未提供 昔の津波、経験分らない 大雨で道路が冠水、排水が悪い 避難道路の拡幅 <p>■都市基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路舗装が悪い、狭い 通学路が狭くて危ない 駅周辺の整備 地域に子どもが遊べる広場、公園がない 競輪場周辺の整備（道路、ごみのポイ捨て） <p>■金磯まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 金磯まちづくりが進んでいない 市の条例で排水・道路の負担金がある <p>■若い人が少ない</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業が少ない（働き口が少ない） 横須のほうに人が流れる <p>■コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域のつながりが少なくなっている <p>■防犯</p> <ul style="list-style-type: none"> 警察署が遠くへ行き防犯上不安 	<p>■まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 老後を楽しく安全に暮らせるまち 駅を中心にコンパクトシティ 積極的な企業誘致（有名な店など） 小松島港に海上自衛隊を誘致 横須海岸の海水浴場の復活 海釣り公園（横須、金磯海岸） <p>■災害に強いまち</p> <ul style="list-style-type: none"> 津波避難タワーをつくる マンション建築時、避難所とすることを条件に市が一定額補助 横須町に避難場所を3箇所つくって安心して暮らせるまちづくり 市が各地域に出向いて防災訓練講座を開催 <p>■競輪場</p> <ul style="list-style-type: none"> 競輪の繁栄で税収アップ ごみポイ捨て禁止条例の制定 <p>■若い人が定住できるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> 働き口の確保 地主さんの土地問題 <p>■コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> 人と人のつきあいを深め高齢者、子どもにやさしい地域でありたい

まちづくりワークショップの結果概要（南小松島小学校区・南部） 2012.7.19 開催 会場：コミュニティ金磯会館 参加者数：24名 班数：3班

ワークショップの様子

写真：①（参加者どうしの意見交換）



写真：②（グループワークシート）



写真：③（参加者による意見発表）



ワークショップの主な意見・アイデア

地域の資源 (地域の良いところ、自慢できることなど)	地域の課題 (地域の良くないところ、改善したいところなど)	地域の将来像 (こんなふうになったらいいなあ)
<ul style="list-style-type: none"> ■景観 <ul style="list-style-type: none"> ・横須海岸、金磯海岸 ・松林、遊歩道など海岸周辺 ・芝生川 ■利便性 <ul style="list-style-type: none"> ・市役所が近い ・病院が近い ・徳島市が近い ■魚 <ul style="list-style-type: none"> ・魚（鱧）がうまい ・魚市場が近い ・魚が釣れる ■娯楽 <ul style="list-style-type: none"> ・競輪場 ・パチンコ店 ・釣り場 ■史跡 <ul style="list-style-type: none"> ・義経のまち ・弁天山 ■ひと <ul style="list-style-type: none"> ・人がやさしい ■イベント <ul style="list-style-type: none"> ・毎年お盆に飛鳥Ⅱ寄港（1万トン岸壁） 	<ul style="list-style-type: none"> ■道路 <ul style="list-style-type: none"> ・道路が狭い、舗装の劣化 ・旧国道とバイパスを結ぶ道がない ・通学路の街灯がない、自転車道の整備 ■排水 <ul style="list-style-type: none"> ・水路が未改良、下水道の未整備、臭い ・ちょっとした雨でも浸かる ・排水路が草だらけ ■防災 <ul style="list-style-type: none"> ・台風、津波の際の避難場所がない ・災害時に連絡早く回るように ■金磯まちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・問題をあげても通っていかない、地元の要望が通らない ・整備基金の説明がなく、うやむやになっている ■公共交通機関の不備 <ul style="list-style-type: none"> ・バス停まで遠い ・交通の便が悪い ■産業・商業の衰退 <ul style="list-style-type: none"> ・大きな企業がなく、会社や工場が少ない ・商店街がない、飲食店が少ない ■コミュニティ <ul style="list-style-type: none"> ・住民の一体感が感じられない。祭りがなくなった。 ■景観の悪化 <ul style="list-style-type: none"> ・海や芝生川が汚い 	<ul style="list-style-type: none"> ■こんなまちに <ul style="list-style-type: none"> ・福祉のまち ・若者の集まるまち、人が集まるまち ・水に浸からないまち ・ごみのないまち ・安心して住めるだけで良い ■まちの施設 <ul style="list-style-type: none"> ・学校をつくる、大学の誘致 ・健康づくりの施設があれば良い ・福祉や娯楽の施設など多種で多くあれば良い ・港公園を充実させる ■自然を活かしたまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・自然エネルギーのまち ・海、川がきれいになったらいい（海のレジャー等） ・港公園を充実させるまちづくり ■イベント <ul style="list-style-type: none"> ・納涼大会、子ども中心に大人も ・競技イベント（トライアスロン） ・船上カジノ ■幹線道路の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・バイパスに通じる大きな道があれば良い ■避難場所の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・防災公園の設置 ■地域の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・4万トン岸壁を利用した流通

ワークショップの様子

写真：①（参加者どうしの意見交換）



写真：②（グループワークシート）



写真：③（参加者による意見発表）



ワークショップの主な意見・アイデア

地域の資源 （地域の良いところ、自慢できることなど）	地域の課題 （地域の良くないところ、改善したいところなど）	地域の将来像 （こんなふうになったらいいなあ）
<p>■自然</p> <ul style="list-style-type: none"> 水がおいしい、魚が旨い、緑が多い 海（小神子）、山（日ノ峰山）、川がある 川に鯉がたくさんいる 花みずき、グラウンドの桜がきれい 港があり景色が良い <p>■住みよいまち</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの安全を見守る人がいる（登下校時） まち全体が静かで生活しやすい 何をしても近くに役所や買い物、病院がある 高齢者が買い物に行ける 地域のつながりが良い部分がある <p>■教育施設・福祉施設・医療施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 北小松島小学校 障がい者施設 日赤がある（安心） 日赤の後を引き継ぐ病院が多くある <p>■公園・スポーツ施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 市営グラウンド、テニス、ゲートボール たぬき広場、遊歩道、金長公園（桜） <p>■防災に強い地域</p> <ul style="list-style-type: none"> 近くに日ノ峰山があり、散歩や避難所となる 	<p>■防災</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難場所が少ない 情報伝達（放送）がない 防潮堤が低く、管理者が不明 防災マニュアルの提示公開（自由に見れるように） 避難時（山、ドライブウェイ）車道が避難道、安全不安 <p>■道路</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路幅が狭い、対向に難 メインの道は整備されているが一本中に入れば未整備 子どもの登校時に自動車が危険 <p>■排水</p> <ul style="list-style-type: none"> 大雨時の水はけの不安 雨が降ると土砂がよく出る、管理の不足 治山治水ができていない（日ノ峰山） <p>■夜が暗い</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共の街灯が少ない 旧日赤病院から北側 <p>■少子化</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの数が減っている 若い人が少なくなった（若い人が住みやすくする） <p>■まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 若い人の市政参加が少ない 障がい者にとって安心して住めるまちではない <p>■ごみ回収</p> <ul style="list-style-type: none"> 粗大ごみの収集に高齢者が困っている 	<p>■住みよいまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 若い人が住みついて欲しい（若い人の特権をつくる） 子どもを含めて安心のできる安全な地域づくり 高齢者の交通を確保したまちづくり デマンドバスのあるまち <p>■コミュニティを良くする</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティアさんがいっぱいいるまち 地区への市からの補助 ひとり暮らしでも楽しく暮らせるまち 高齢者と子どもの交流機会をつくる <p>■自然を活かしたまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 花みずきをもっと増やす、ごみのないまち 小松島の軽井沢に位置づけてほしい 自然（山）を活かしたくつろぎの地域 <p>■道路整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 国道・県道からの枝道が便利なまち 子育てにやさしい道路整備、安全、安心 <p>■まちづくりの方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民がまちづくりを考え続ける仕組み 計画を透明化し計画通りにすすめる <p>■防災に強いまち</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災に強い地域のモデルになる <p>■企業によるまちの発展</p> <ul style="list-style-type: none"> 第二、第三の長楽苑を招こう

まちづくりワークショップの結果概要（千代小学校区） 2012.7.20 開催 会場：千代公民館 参加者数：15名 班数：2班

ワークショップの様子

写真：①（参加者どうしの意見交換）



写真：②（グループワークシート）



写真：③（参加者による意見発表）



ワークショップの主な意見・アイデア

地域の資源 （地域の良いところ、自慢できることなど）	地域の課題 （地域の良くないところ、改善したいところなど）	地域の将来像 （こんなふうになったらいいなあ）
<ul style="list-style-type: none"> ■生活しやすい、便利 <ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が良い（JR中田駅がある） ・徳島市に近い、自転車でも行ける ・病院など福祉に恵まれている ・大型店もでき交通もますます便利なほうである ■自然が豊か <ul style="list-style-type: none"> ・市街地であるが田畑も残り、ゆったりしたまち ・川、山、田園 ・地下水がきれい、水がうまい ■災害に強い面もある <ul style="list-style-type: none"> ・土地の標高が高い（海拔3.5mくらい） ・台風時の風当たりが少ない ■コミュニティが強い <ul style="list-style-type: none"> ・協力的で理解がある人が多いように思う ・人と人との和、ふれあい（絆） ■歴史的な祭り、行事がある <ul style="list-style-type: none"> ・秋祭りにみこしがでる ・伝統のある有名な神社仏閣がある良地域である ■イベント <ul style="list-style-type: none"> ・みなとまつり、阿波踊り、花火大会 ・花火師サンタ生誕地 ■和の心、信仰心 <ul style="list-style-type: none"> ・お地藏さんが多い 	<ul style="list-style-type: none"> ■都市基盤整備 <ul style="list-style-type: none"> ・道路が狭い、段差、信号が少ない ・通学道路（小学生）を整備してほしい ・都市計画道路の見直し ・雨水対策が必要 ・水路の維持管理（下水道がないなど） ・市街化農地の税が高いのにインフラ整備ができていない ■防災面の不安 <ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害の危険がある ・避難場所の確保ができていない ■特産物がない <ul style="list-style-type: none"> ・特に良い産物がないので地域を悪くしている ■PR不足 <ul style="list-style-type: none"> ・郷土の伝統平和産業、阿波花火を知らない。広報 ■コミュニケーションが希薄になってきている <ul style="list-style-type: none"> ・昔と違って町内グループが無く、人間関係が希薄 ■行事の減少 <ul style="list-style-type: none"> ・祭りなど廃れつつある、伝統行事をもっと大切にすべき ■産業、商業の衰退 <ul style="list-style-type: none"> ・空き家が増加し、地価も低下傾向が顕著 ■少子高齢化 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者世帯が多く、小学生等が少ない（地区内の奉仕活動も不十分） ■防犯 <ul style="list-style-type: none"> ・街灯を多く 	<ul style="list-style-type: none"> ■災害に強いまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・防災設備、地震警報の広報、マイク放送 ・防災避難所の確保 ・日ノ峰山一体を大公園に ■住宅地としての発展 <ul style="list-style-type: none"> ・土地の標高が高いので住宅地としていい ・他のまちからもきてほしい ■土地の有効利用からまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・人口が減るので立ち退いた土地を公園などの地区の遊び場にする ・住宅地と商業地の区分け ■安全で安心できる笑い声の絶えない国際的なまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・安全で住みよいまちにしたい ・外国人と仲良く。千代は国際的なまちをめざそう ■働けるまち <ul style="list-style-type: none"> ・若い元気な人が働ける場 ■便利なまち <ul style="list-style-type: none"> ・大型店舗来てほしい ■農業からのまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・農といえる優食人種を増やす ■情報キャッチの意識 <ul style="list-style-type: none"> ・市民の情報をキャッチできる行政

まちづくりワークショップ結果（概要）

○ 児安・芝田地域

（１）児安小学校区

（２）芝田小学校区

まちづくりワークショップの結果概要（児安小学校区） 2012.7.18 開催 会場：児安公民館 参加者数：27名 班数：3班

ワークショップの様子

写真：①（参加者どうしの意見交換）



写真：②（グループワークシート）



写真：③（参加者による意見発表）



ワークショップの主な意見・アイデア

地域の資源 （地域の良いところ、自慢できることなど）	地域の課題 （地域の良くないところ、改善したいところなど）	地域の将来像 （こんなふうになったらいいなあ）
<p>■自然</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水がきれいでおいしい ・ほたるがいる ・昔ながらののどかな風景 ・山、川があり自然に恵まれている ・石垣用水 ・清浄ヶ池 <p>■住みよいまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県都に近い ・買い物に行くのが町に近い ・静かである ・北へ南へ移動に最適 ・車の通行量も朝を除き少なく静か <p>■農業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お米がおいしい ・田んぼが多い <p>■歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（新居見遺跡）古墳 ・高瀬船（勝浦町横瀬～佐古） <p>■コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良い人柄の人が多い 	<p>■通学路、道路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県道小松島佐那河内線の交通対策 ・道が狭い、歩道なし、子どもが通学していて危険 ・ダンプが走りすぐに穴があく ・4m道路（市道）、対面交通、簡易舗装、未舗装 <p>■水路整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川に草が多く生えて水の流れが悪い ・石垣破壊、修復がそれぞれ ・下水がない ・雨水排水対策 <p>■河川整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災関係で西原堰の老朽化 ・河川道路の整備が不足 ・勝浦川の強化、防災対策 ・昔のままの箇所があり危険 <p>■少子化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが少なくなった ・子どもの遊ぶ場所がない <p>■交通機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通不便 <p>■商店</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店が無く不便 <p>■コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疎遠、人づきあいが難しくなった 	<p>■地域住民が安心できるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホテルのいる静かなまちでいてほしい ・ランニング、ウォーキングコースがほしい ・防犯活動に力を入れる ・自然公園があるまち ・子どもが多いまち ・子どもが安心して住めるまち ・防災堤防の補強で安全なまち <p>■道路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県道小松島佐那河内線の整備 ・地域住民が安心できる道路づくり <p>■農業振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほ場整備 ・農業の発展とか特産品開発 <p>■地域の憩いの場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水を活かした公園をつくる ・焼却炉を利用し、温泉をつくる <p>■大都会との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市との交流 <p>■IT</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業の立地、IT企業 <p>■日本一のまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本一のものをつくってほしい

ワークショップの様子

写真：①（参加者どうしの意見交換）



写真：②（グループワークシート）



写真：③（参加者による意見発表）



ワークショップの主な意見・アイデア

地域の資源 (地域の良いところ、自慢できることなど)	地域の課題 (地域の良くないところ、改善したいところなど)	地域の将来像 (こんなふうになったらいいなあ)
<p>■自然</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑豊か ・水が豊富、水がきれい ・山に沈む夕日が絶品 ・星がきれい ・野鳥が多い ・里山が近い ・田園風景が良い <p>■文化・歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十八番札所 恩山寺（歴史ある三番そうが続いている） ・無形文化財の踊り ・源平史跡（日本一大きい義経像がある） <p>■交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県庁から車で20分 ・交通の便がよい <p>■食品・食料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たけのこ ・阿波牛（肉牛） <p>■教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校がある ・そろばん塾の発祥 	<p>■河川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川はあるが、ほたるが住めない ・河川の早期改修 ・水害対策 ・水の流れが悪い <p>■山の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹林で山の動物が農地に下りてくるのが困る ・山が竹林化している（広葉樹が少ない） ・竹林で自然災害が心配 <p>■道路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二車線道路がない ・街灯が少ない（道路が暗い） ・高速道路で大きく変わってしまう不安 <p>■コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口、若者が少なくなっている ・個人個人は良い人だが集団になると人が変わる ・閉鎖的（人間関係）である <p>■後継者不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20年先の地域の姿が不安、計画がない ・20年後には農業生産がどうなっているか（やり手不足） <p>■高齢者にとって遠い買い物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通不便（バスの便が悪いなど） ・買い物に不便 	<p>■子どもが地域で残れるような場を</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早く小学校の位置を決定する ・教育関係の誘致 ・地元で雇用の場がほしい ・子どものための公園 ・住宅地を多くする <p>■農業を活かしたまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・義経像や伝承を利用した市場づくり ・休耕地を利用した市民農園 ・農業、野菜の団地化を進める ・農業法人を増やして若い人の就労を増やす <p>■災害に強いまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害に強いまちづくり ・防災公園兼自然公園、避難場所 ・地震災害に強い地の利を活かしたまち <p>■自然</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清流を残していきたい ・自然が残っているまち <p>■予防医療のまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日赤を核とした安心安全なまちづくり ・予防医療に役立てるハイキングコース（勢合～新居見、竹林散歩）

まちづくりワークショップ結果（概要）

○ 坂野・和田島・新開地域

（１）坂野小学校区

（２）和田島小学校区

（３）新開小学校区

ワークショップの様子

写真：①（参加者どうしの意見交換）



写真：②（グループワークシート）



写真：③（参加者による意見発表）



ワークショップの主な意見・アイデア

地域の資源 (地域の良いところ、自慢できることなど)	地域の課題 (地域の良くないところ、改善したいところなど)	地域の将来像 (こんなふうになったらいいなあ)
<p>■ 住みよいまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徳島に割と近い ・静かでのどかな農村地帯 ・工場がなく、空気がきれい ・治安が良い <p>■ 自然環境・農産物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海あり、平野あり、山あり ・お米 ・野菜（トマト、キュウリ） <p>■ 行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの運動会と町民運動会を合同で開催している ・地域の祭りが残っている ・学校の運動場を開放している <p>■ 教育・子育て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どものいる家庭が多い ・少年野球チームがある <p>■ まちの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通路が良くなりつつある ・水道の整備ができています <p>■ 災害に強い地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害の被害が少ない <p>■ コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人柄が良く、人と人とのつながりが深い 	<p>■ まちの発展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調整区域なので宅地化がしづらく人口が増えない ・住居の区画整理により見た目を美しくすればいい ・子どもが少なく人口が減少 ・企業が少なく雇用の場がない <p>■ まちの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路が危ない ・用排水路の改善、下水道がない ・公園と街灯が少ない <p>■ 学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の設備改善、耐震化 ・学校統合はしないでほしい <p>■ 農業振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地場産業の育成が必要 ・朝市の開催など農家の協力体制の強化 <p>■ コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚活動支援が必要 ・町内会等の組織の充実が必要 <p>■ 自然災害</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨が降ると水がすぐにたまる ・津波に弱い（避難場所、避難路がない） <p>■ 公共交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市バスのルート、便数改善、市バスをやめないで 	<p>■ 安全安心</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波で心配のないまち ・防災施設の充実 ・安全、快適、歩きながら話ができる <p>■ 自然、農業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有機農業（無農薬） ・美しい自然と調和したまち ・豊かな田園風景を残したい <p>■ 人口増加、経済</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致、商業施設誘致、植物工場誘致 ・農地を宅地化、ベッドタウン推進 ・若者が希望を持って住めるまち（地域雇用） <p>■ 住みよいまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の住みやすい場所のあるまち ・団地住宅を増やすなど住宅地域に <p>■ 地域の学校の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元には学校があり、歩いて通学 ・人材育成の総合的教育機関 <p>■ 公共交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市バスにどこでも乗れる（コミュニティバス） <p>■ コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の祭りが充実し人々が深い交流

まちづくりワークショップの結果概要（和田島小学校区） 2012.7.20 開催 会場：和田島公民館 参加者数：8名 班数：1班

ワークショップの様子

写真：①（参加者どうしの意見交換）



写真：②（グループワークシート）



写真：③（参加者による意見発表）



ワークショップの主な意見・アイデア

地域の資源 （地域の良いところ、自慢できることなど）	地域の課題 （地域の良くないところ、改善したいところなど）	地域の将来像 （こんなふうになったらいいなあ）
<p>■環境が良く住みやすい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者、自転車目線で楽しめる環境 ・海が近く釣りに行ける ・高齢者に便利な交通がある（路線バス） ・4万トン付近はウォーキングに最適 ・ニュータウンの下水の完備 ・車の事故が少ない ・静かなまち ・野球場、グラウンドがある（あいさい緑地） ・海岸道路がとても景色がきれい（海岸線） <p>■海産物おいしい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・釜揚げがおいしい ・アジ、サバの釣りが楽しめる海環境 <p>■漁業・農業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業がさかん（バッチ網漁船が県下一の数） ・農業がさかん <p>■防災・耐震、防災の安心感がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震強化岸壁「赤石埠頭」 ・道路（幹線）が広い <p>■自衛隊がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目印、ランドマークとしての自衛隊 ・財政のメリットがある <p>■コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民のきずなが深い 	<p>■都市基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路が悪い（舗装劣化） ・交通の弱点が存在（太田橋に一点集中など） ・再度フェリーポートを発着してほしい ・排水が悪いため悪臭、腐敗臭 ・和田島坂野線の用水路はごみが多く困っている <p>■地域活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいとイベントがない ・イベントの空間、予算がない ・ボランティア活動が知られていない（市の協力がほしい） ・働く会社が少ない ・地場産業が振るわない（漁業） ・飲食店がほとんどない <p>■防災対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高台が少ない、避難場所が少ない（津波） ・津波に自衛隊のバックアップがあるか心配 ・防潮堤が古い（防災・津波が心配） ・防災視点で道路が未整備、バイパス化（道路の建設） ・浸水が多い <p>■交通が不便</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスの運行が2時間に1回 ・駅から遠い、駅までの交通手段 ・高齢者の方の買い物不便 <p>■和田島の北部について通信が難しい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠見では携帯が繋がりにくい 	<p>■和田島の特性を活かしたヒトモノづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観美を県外にPR ・新しい海洋事業、観光事業の開発 ・レジャー船の係留で活性化できる ・貯木場の有効利用 ・漁業と観光の共存共栄化 ・産直レストラン、産直市場 <p>■防災のまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害の心配が少ない海が近いまち ・災害に強いまち ・防災タワーをランドマークにしたまち ・海岸沿いに防災タワーを設置 <p>■水産業、農業のまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業、農業を活用したまちづくり ・6次産業化（きずなを活かして） <p>■子育て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが多く集まれる場所づくり ・子育て世代の増加 <p>■まちづくりの方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人の力を集結したらもっと伸びる（協働） ・まちづくりの話し合いが続くことが大切 <p>■高齢者にやさしいまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の移動手段が大切（循環型バス） ・公営バスの小型化

ワークショップの様子

写真：①（参加者どうしの意見交換）



写真：②（グループワークシート）



写真：③（参加者による意見発表）



ワークショップの主な意見・アイデア

地域の資源 （地域の良いところ、自慢できることなど）	地域の課題 （地域の良くないところ、改善したいところなど）	地域の将来像 （こんなふうになったらいいなあ）
<p>■交通・利便性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイパスが近くにあり、移動ができる ・JRの赤石駅が近くにある ・買い物などが便利になっている ・市バスが通っている ・陸路、水路、空路が便利 <p>■コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何かあると小学校に集まる ・住民の絆が強い ・誰とでも話ができる ・昔から農家が多い <p>■自然</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海、山、風景よし ・田園風景がよい ・緑が多い ・水が旨い <p>■食品、食材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良質のちりめん、わかめは種類が多い ・魚、肉、野菜、何でも手に入る ・農作物（特にお米）が美味しい <p>■学校・施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつでも利用できる ・赤石に体育館、グラウンドがある <p>■企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな企業ある（工場等） ・コンテナヤードがあり、輸出・輸入で市財政に貢献している 	<p>■自然災害</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高台に新たな宅地を作る ・新耐震にダメ（新開小学校） ・避難場所がない ・堤防がない（赤石港から和田島港まで） ・遊水池が少ない ・最近のハザードマップでは、住宅地は水没してしまう ・現在の市街化地域に家を建てるか？（震災、津波） <p>■都市基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔からの街並みでインフラ等の整備ができていない ・用水路の排水が悪い ・下水道の整備 ・県道、市道の拡幅 ・歩道の高低差（車の進入路）がある ・通学路が狭く、危険 <p>■線引き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・線引きを見直し ・都市計画そのものの見直し（抜本的に） ・市街化調整区域での問題がある（税金面、住宅ができない） <p>■交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスの本数が少ないし ・市営バスが廃止されたら移動手段がなくなる <p>■まちの施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観が壊れるため必要がない ・新設の同種の商業施設が多い 	<p>■災害に強いまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報が多い（環境） ・計画の見直し（津波につかる） ・避難シェルター（地下） ・赤石山を開発して、市役所、消防署、ヘリポートを建設 ・津波避難タワーの設置 ・住宅地を新たに高台につくる ・人のつながりを活かし、助け合いや協力できるまち <p>■活気のあるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人が地域に関心を持つイベント ・各町内でシンボルを設置 ・ふれあいのある明るいまち ・住みやすく人が集まってくる地域 <p>■誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致 ・一流大学（教育機関）の誘致 ・集客力のある商業施設の誘致 ・開発可能な地域にしてみたい <p>■港湾整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港の整備と有効利用による活性化 ・赤石港の整備（ヨット、プレジャー等） <p>■自然</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然と調和のとれたまち

まちづくりワークショップ結果（概要）

○ 立江・櫛淵地域

（１）立江小学校区

（２）櫛淵小学校区

ワークショップの様子

写真：①（参加者どうしの意見交換）



写真：②（グループワークシート）



写真：③（参加者による意見発表）



ワークショップの主な意見・アイデア

地域の資源 (地域の良いところ、自慢できることなど)	地域の課題 (地域の良くないところ、改善したいところなど)	地域の将来像 (こんなふうになったらいいなあ)
<p>■地域のシンボル（歴史、文化）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八十八箇所の礼所立江寺 ・立江寺のライトアップ ・筒花火、花火工場 ・秋葉神社の天狗しばき <p>■自然がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たけのこ（竹） ・公民館前の春の桜 ・稲作 <p>■特産品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまもも ・椎茸工場 <p>■公園・散歩道</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立江川親水公園、ふれあいセンター立江 ・ミニ八十八箇所 <p>■人が集まる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA あいさい広場（産直市） ・病院がたくさんある <p>■コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの笑顔 ・人間性が良い 	<p>■都市基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道幅が狭い（歩道、商店街、さぎ橋たもとなど） ・下水道の整備 ・案内板がない（少ない） ・公園で遊ぶものがない <p>■衰退</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化 ・学校統合で子どものこれからが心配 ・若い人がいなくなる ・人が寄るような施設がほしい（住宅、学校） ・店が遠く、商店がほしい（小型マーケット） <p>■安心安全（防災・防犯）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橋（さぎ橋）が古い。早く架け替えを ・洪水になる ・街灯が少なく暗い。夜のまちなみが暗い <p>■バス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市バスは小型バスで良いと思う ・ルートと行きたい所が合っていない <p>■土地利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規制緩和をしてほしい（農地転用） 	<p>■便利で住みよいまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が住みよいまち（病院、食料品店がある） ・総合型大型店舗誘致 ・小中学校、役所、郵便局、農協、公民館を残してほしい ・高齢者と子どもが遊べるまち ・子どもが安心して遊べるまち ・高齢者が住みよく観光客が寄ってくれるまち（協町のうだつのまち） <p>■今あるものを活かす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きれいな田舎 ・フレンドリーでみんなが知り合い ・寺を中心として楽しめるまち ・昔からの知恵や工作物を伝える <p>■外からの人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外の人を楽しめるまち ・多くの人と交流できるまち ・お遍路さんに安心されるまち

まちづくりワークショップの結果概要（榊小学校区） 2012.7.13 開催 会場：榊公民館 参加者数：9名 班数：1班

ワークショップの様子

写真：①（参加者どうしの意見交換）



写真：②（グループワークシート）



写真：③（参加者による意見発表）



ワークショップの主な意見・アイデア

地域の資源 （地域の良いところ、自慢できることなど）	地域の課題 （地域の良くないところ、改善したいところなど）	地域の将来像 （こんなふうになったらいいなあ）
<p>■自然・農産物</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊かな風景、自然環境（山、川、田） 四季を通じて特産物が豊か 空気がおいしい 鳥が多い 竹、竹林、たけのこ 竹チップ（有機農業用資材・竹炭利用） 農作物（生しいたけ、お米、やまもも、くだもの） <p>■コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> 人情が厚い 穏和な気質 豊かな人間性 長寿 教育熱心 小学校の児童があいさつをよくしてくれる 榊青年団の歌がある <p>■すばらしい歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> 神社（清水） 祭りが多い 敬義祭（三世帯交流） 	<p>■利便性</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校がなくなっていく 街灯がなく夜道が暗い 雨が降ると大変、排水が不十分 光ケーブルがない、情報化が遅い 病院がない 買い物不便（羽ノ浦が一番近い） <p>■コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> 若者達との交流がない 若者の集いの場がない ボランティア精神が薄い、人材が少ない 公民館の活動を知らせて サークルがない <p>■少子高齢化</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもが少ない 晩婚化 独居老人が多い <p>■自然環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> マムシ、ハミがいる 休耕田の管理が不十分（イノシシ、シカ） 山の保水力が足りない <p>■巡回バスが必要</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通の便が悪い（バス） 	<p>■自然・農産物を活かす</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然環境を維持した農業を中心とした活力あるまち 菌床しいたけ日本一の地区を利用 バイパス沿いに桜並木 自然エネルギーを利用する南斜面 農産物の加工 榊に産直市 第一次産業として有機農法をする <p>■少子高齢化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口増 若者のまち 晩婚・非婚をなくす 子どもが多くなって活気が出る <p>■コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> 花のある集いの場づくり コミュニティによる安全安心なまち 健康づくりを榊で <p>■人材を活かすまち</p> <ul style="list-style-type: none"> 人材バンクをつくる 退職した人が次の世代に伝えていく <p>■情報の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ブログ・ホームページをつくって榊を紹介 他のまちからの移住

資料 4 用語解説

あ

Iターン・Uターン	生まれ育った出身地と居住地との関係を表す言葉。「Iターン」は出身地に関係のない地域に居住することを指し、「Uターン」は出身地を進学や就職で離れた人が再び出身地に帰ってきて居住することを指す。他に、出身地を進学や就職で離れた後、出身地の近隣地域などに居住することを指す「Jターン」もある。
インターチェンジ (IC)	高速道路や自動車専用道路の出入口。
屋外広告物	常時又は一定の期間継続して、屋外で公衆に表示される看板、立看板、広告塔、広告板又は建物等に掲出、表示されたもの。

か

ガントリークレーン	港湾の岸壁に設置され、コンテナ等の貨物の積み卸しを行うクレーン。
狭あい道路	緊急車両の通行や防災上支障となる幅員が狭い道路。細街路ともいう。
景観計画	景観法に基づき、景観行政団体となった地方公共団体が、良好な景観の形成を目的として策定する計画。
公共下水道	主として市街地における下水を排除し、または処理するため、市町村が管理する施設。道路等に埋設される下水管のほか、汚水を浄化する処理場や雨水を排除する雨水ポンプ場などがある。
国勢調査	人口・世帯等の実態を明らかにする国の最も基本的な統計調査。日本国内に住んでいる全ての人・世帯を対象として5年ごとに実施。
小松島市第5次総合計画	本市の長期的なまちづくりの基本方向と施策の内容を総合的、計画的に示すもので、市政の指針となる計画。平成21年3月に策定し、平成25年度から後期基本計画がスタート。
小松島市地域防災計画	市民の生命、身体及び財産を災害から保護することを目的として、各防災機関の任務を明確にし、災害の発生を防止、更に応急的援助を行うなど被害を最小限に止めるよう、対策をまとめたもの。
コミュニティ	一定の地域に居住し、共属感情を持つ人々の集団。地域社会。共同体。
コンテナターミナル	コンテナの海上輸送と陸上輸送の結節点となる港湾施設の総称。貨物の積み卸しをする荷役エリアやコンテナを一時的に保管するコンテナヤードなどから構成される。
コンパクトシティ	様々な都市機能が比較的小さなエリアに集積しているまち。

さ

市街化区域	都市計画区域のうち、すでに市街地を形成している区域及び概ね 10 年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域。
市街化調整区域	都市計画区域のうち、市街化を抑制する区域。無秩序な市街地の拡大を防止し、農地や自然環境を保全していくことを目的とする区域。
市街地開発事業	都市計画法に定められる事業で、土地区画整理事業や市街地再開発事業などがある。計画的な市街地形成を図るため、公共施設の整備と合わせて宅地の利用増進、建築物の整備を一体的かつ総合的に進める事業。
市街地再開発事業	都市計画法及び都市再開発法に基づき、市街地の土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図る目的で建築物及び建設敷地の整備、公共施設の整備などを行う事業。
重点港湾	国際および国内海上輸送の拠点となり、重要度の高い港湾である重要港湾のうち、貨物の取扱量が特に多く、将来の成長、地域経済への貢献などから選ばれた港湾のこと。徳島小松島港が指定されている。
準用河川	一級河川及び二級河川以外の河川で、市町村長が指定したもの。河川法の二級河川に関する規定が準用される。小松島市内には、広見川、大瀬川、櫛淵川などがある。
人口集中地区 (DID)	国勢調査の集計のために設定され、人口密度が 40 人/ha 以上の国勢調査の調査区が集合し、合計人口が 5,000 人以上となる地域。

た

地区計画	地区の特性に応じ、きめ細やかなルールを定め、建築又は開発行為を規制・誘導する都市計画の手法の一つ。
都市計画区域	都市計画法、その他の法令の規制を受ける土地の範囲であり、自然的、社会的条件等を勘案して、一体的な都市として総合的に整備、開発及び保全することを目的として定める区域。小松島市は徳島東部都市計画区域に含まれている。
都市計画公園	都市計画法により定められる公園。規模や内容によって広域公園、運動公園、街区公園などがある。
都市計画制度	用語解説 (参考資料) に掲載しています。(p152~153 参照)
都市計画道路	都市計画法に定められる道路。自動車専用道路、幹線街路、区画街路、特殊街路がある。
都市下水路	主として市街地において、専ら雨水排除を目的とするもので、終末処理場を有しないもの。

な

南海トラフ	東海地方から四国沖、九州付近までの海底にある深い溝（トラフ）の名称。東海地震、東南海地震、南海地震を引き起こす活発で大規模な活断層であり、南海トラフから琉球海溝までの約 1,000km に及ぶ断層が連動して破壊されると、マグニチュード 9 クラスの超巨大地震が発生する可能性があると考えられている。
二級河川	河川法に規定される重要な水系のうち、都道府県知事が指定したものの。小松島市内には神田瀬川、立江川、太田川などがある。

は

排水機場	河川の氾濫を防止するため、ポンプにより強制的に排水する河川施設。
パブリックコメント	意見公募手続きの一種で、市が事業を推進したり、計画を立案したりする際に、事前に広く市民から意見や情報を募集するもの。
バリアフリー	障がい者や高齢者等が自立した生活を送れるように、建築物の構造や公共交通機関などにおける物理的な障壁（バリア）の他、社会制度や意識、情報伝達での障壁など、全ての障壁を取り除くという考え方。
BOD（生物学的酸素要求量）	水中の微生物が有機物（水の汚れ）を分解するのに必要な酸素の量。水質の指標として、この数値が小さいほど水はきれいな状態を示す。
風致地区	都市における自然的景観（都市の風致）を維持するため、都市計画法に基づき指定する地区。風致地区内での開発行為には様々な制限がある。
ほ場整備	既存の農地の利用を増進するため、土地区画整理などにより、農地や用排水路を整備し、土地の特性を農業生産に適するように改良すること。

ま

門前町	寺院・神社の周辺に形成された町。
-----	------------------

や

用途地域	都市計画法に基づき、住居、商業、工業その他の用途を適切に配分し、建築物の用途、密度及び形態などに関する制限を設定することにより、機能的な都市活動の推進、良好な都市環境の形成を図るもの。
義経ドリームロード	「義経街道」と呼ばれる源義経が屋島に向かって進軍した進路のうち、義経が上陸したとされる田野町の「勢合」から田浦町の「中王子」までの、小松島市内の義経ゆかりの地を結ぶ約 10km の道。

ら

ライフライン	水道、下水道、電気、ガス、電話等人々の日常生活を維持するために不可欠な供給システム。
6次産業化	農山漁村の活性化のため、地域の第1次産業とこれに関連する第2次、第3次産業（加工・販売等）に係る事業の融合等により地域ビジネスの展開と新たな業態の創出を行う取り組み。（1次産業×2次産業×3次産業=6次産業）

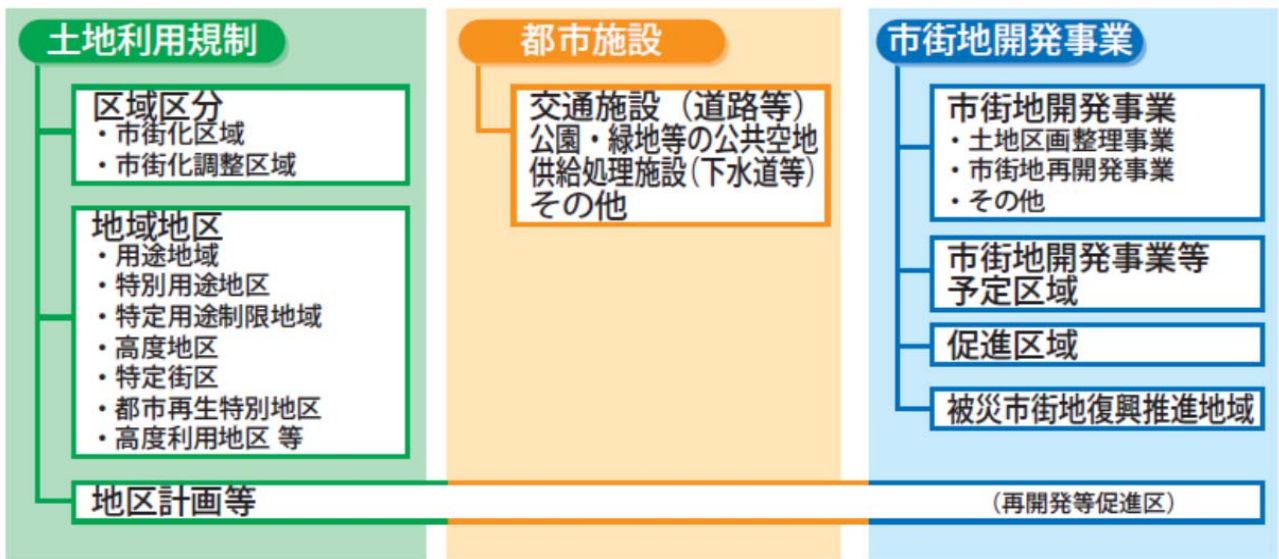
わ

ワークショップ	特定の課題について、住民、行政、専門家などが討議し協力してアイデアを出し合う会議手法。
---------	---

用語解説（参考資料） 都市計画制度の概要

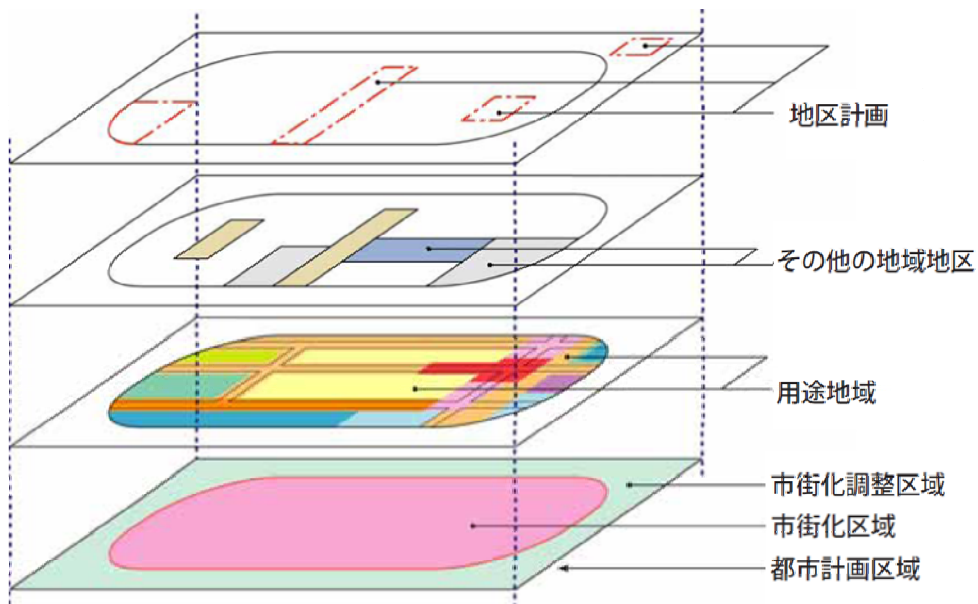
都市計画には数多くの制度が用意されており、それを地方公共団体が地域の実情によって指定していきます。土地利用に関しては、都道府県が定める都市計画区域や区域区分などの大枠を決める仕組みから、市町村が定める用途地域などのきめ細かなまちづくりをするための仕組みまで、数多くの制度が用意されており、それらを組み合わせて活用することにより、地域のルールが作られています。

都市計画制度の構成



(出典：国土交通省)

土地利用計画のイメージ



(出典：国土交通省)

用途地域の土地利用のイメージ

12種類ある用途地域は、地域地区の根幹をなすもので、住居、商業、工業といった建築物の用途を適切に配分することにより、都市の土地利用の基本的な枠組みを定めるものです。

<p>第一種低層住居専用地域</p> <p>低層住宅の良好な環境を守るための地域です。小規模な店舗や事務所を兼ねた住宅や小中学校などは建てられません。</p>	<p>第二種低層住居専用地域</p> <p>おもに低層住宅の良好な環境を守るための地域です。小中学校などのほか、150㎡までの一定の店舗などは建てられます。</p>	<p>第一種中高層住居専用地域</p> <p>中高層住宅の良好な環境を守るための地域です。病院、大学、500㎡までの一定の店舗などは建てられます。</p>
<p>第二種中高層住居専用地域</p> <p>おもに中高層住宅の良好な環境を守るための地域です。病院、大学などのほか、1,500㎡までの一定の店舗や事務所などは建てられます。</p>	<p>第一種住居地域</p> <p>住居の環境を守る地域です。3,000㎡までの店舗、事務所、ホテルなどは建てられます。</p>	<p>第二種住居地域</p> <p>おもに住居の環境を守るための地域です。店舗、事務所、ホテル、ぱちんこ屋、カラオケボックスなどは建てられます。</p>
<p>準住居地域</p> <p>道路の沿道において、自動車関連施設などの立地と、これと調和した住居の環境を保護するための地域です。</p>	<p>近隣商業地域</p> <p>近隣の住民が日用品の買物などをする店舗等の業務の利便の増進を図る地域です。住宅や店舗のほかに小規模の工場も建てられます。</p>	<p>商業地域</p> <p>銀行、映画館、飲食店、百貨店、事務所などの商業等の業務の利便の増進を図る地域です。住宅や小規模の工場も建てられます。</p>
<p>準工業地域</p> <p>おもに軽工業の工場やサービス施設の業務の利便を図る地域です。危険性、環境悪化が大きい工場のほかは、ほとんど建てられます。</p>	<p>工業地域</p> <p>おもに工業の業務の利便の増進を図る地域で、どんな工場でも建てられます。住宅や店舗も建てられますが、学校、病院、ホテルなどは建てられません。</p>	<p>工業専用地域</p> <p>もっぱら工業の業務の利便の増進を図る地域です。どんな工場でも建てられますが、住宅、店舗、学校、病院、ホテルなどは建てられません。</p>

(上記はおおまかなイメージを示すもので、全ての制限について掲載したものではありません。)

(出典：国土交通省)